

1. 平成27年9月関東・東北豪雨災害概要

1.1 気象及び河川水位の状況

1.1.1 宇都宮地方気象台

9月7日から8日は、東日本の太平洋沿岸に停滞する前線の影響により、雨が継続した。

9日は、台風第18号が10時過ぎに知多半島に上陸した後、21時には日本海中部で温帯低気圧に変わった。この台風や台風から変わった低気圧に向かって、湿った空気が流れ込んだ影響で雨が継続し、特に夕方以降は激しい雨となった所があり、日光地域では非常に激しい雨となった所があった。

10日は、9日に引き続き台風から変わった低気圧に向かって湿った空気が流れ込んだ影響により雨が継続し、明け方にかけては激しい雨となった所があり、特に日光地域では数時間にわたり非常に激しい雨が継続した所があった。

9月7日18時から11日06時までの雨量は、日光市今市で636.0ミリ、日光市五十里で618.5ミリ、日光市土呂部で561.5ミリ、鹿沼では507.0ミリなど、日光地域では600ミリを超えた所があり、南西部や県央部でも300ミリを超えた所があった。最大1時間降水量は、日光市五十里で62.0ミリ（10日01時17分までの前1時間）、日光市今市で60.5ミリ（10日02時23分までの前1時間）、鹿沼で55.0ミリ（10日03時15分までの前1時間）を観測した。

月最大24時間降水量は、日光市五十里で551.0ミリ（10日06時30分までの前24時間）、日光市今市で541.0ミリ（10日06時20分までの前24時間）など、日光地域、南西部及び県央部では統計開始以来の極値を更新した地点があった。

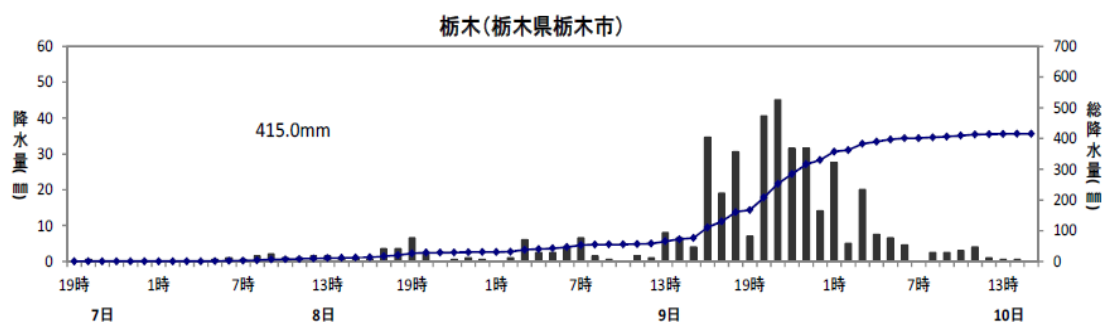
○アメダスの期間降水量表 平成27年9月7日18時～11日06時

市町村名	アメダス地点名	7日 (18時～) mm	8日 mm	9日 mm	10日 mm	11日 (～6時) mm	合計 mm
栃木市	栃木	0.5	30.5	299.0	89.5	0.0	419.5

○アメダスの最大1時間降水量表 平成27年9月7日18時～11日06時

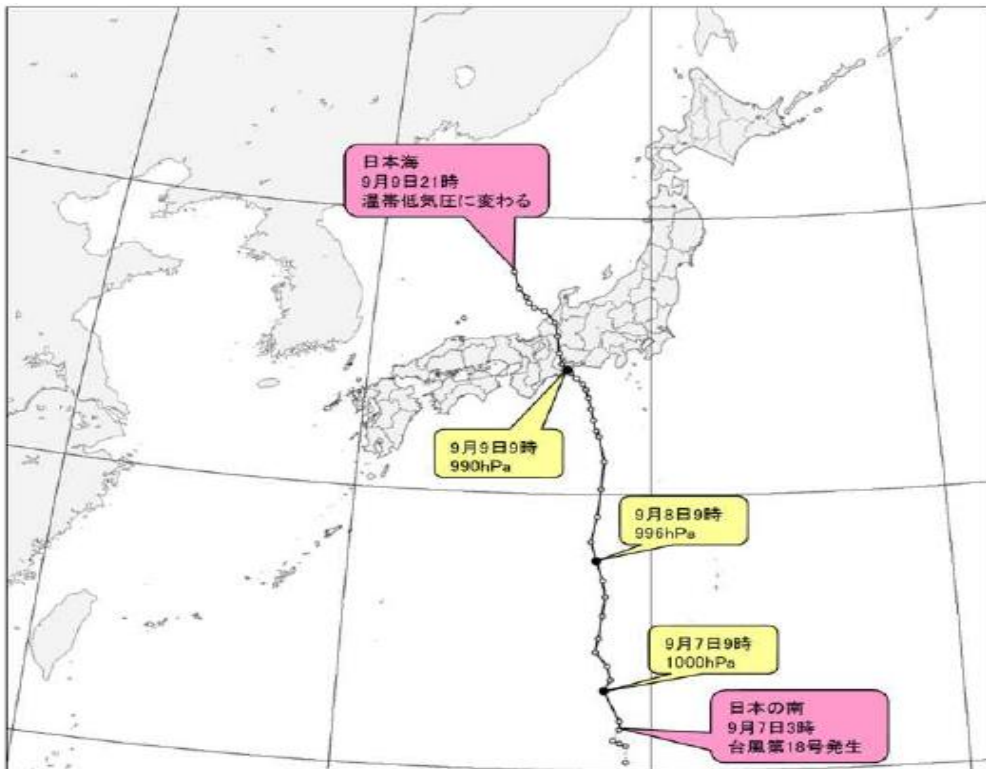
市町村名	アメダス地点名	降水量(mm)	月日	時分
栃木市	栃木	49.5	09/09	21:17

○降水量の推移

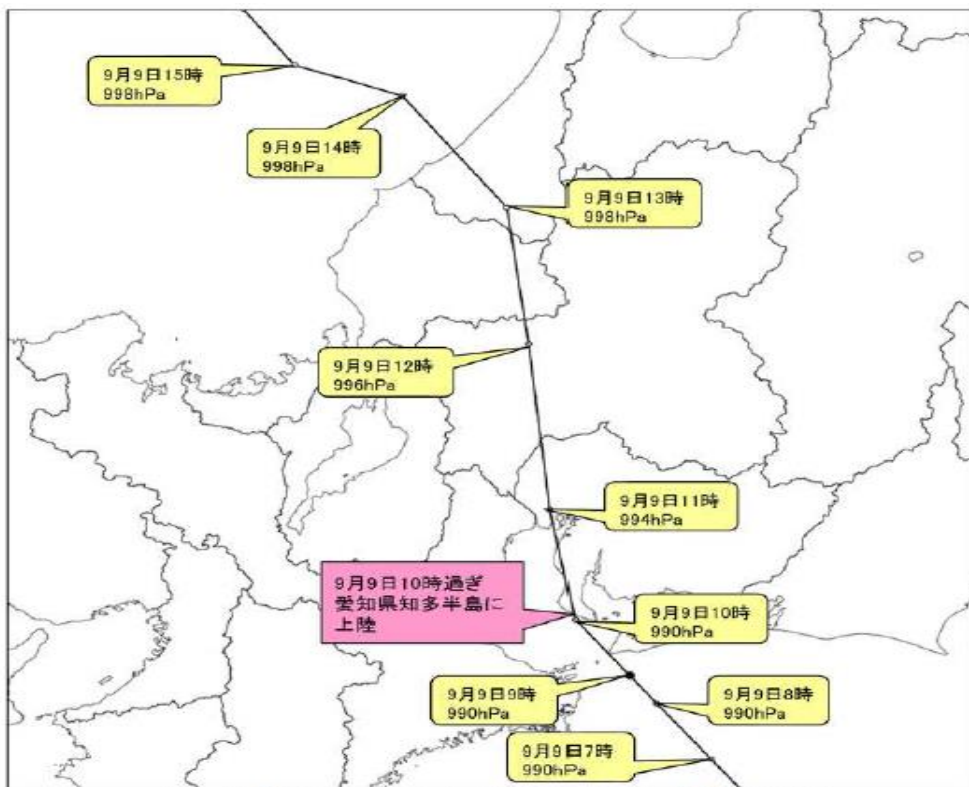


(気象の状況)

① 台風経路図・位置表

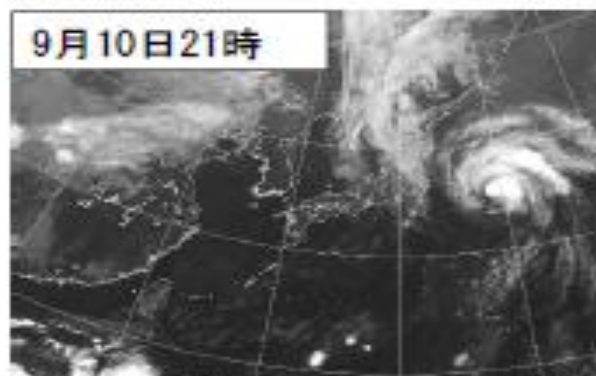
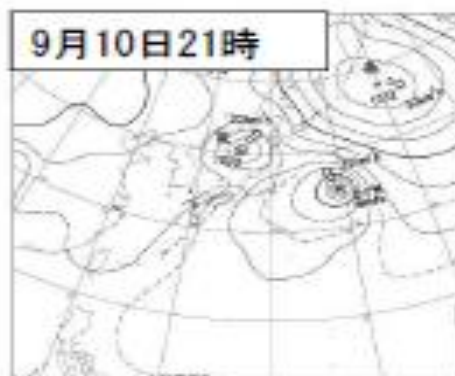
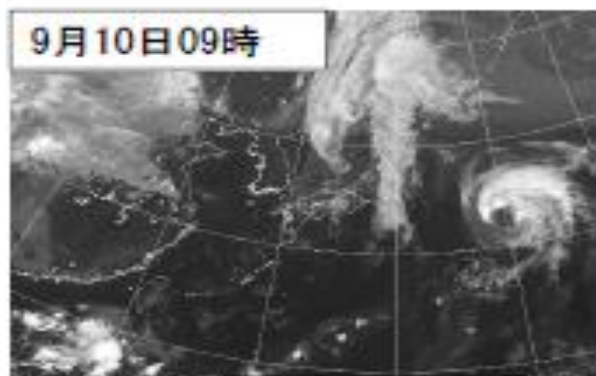
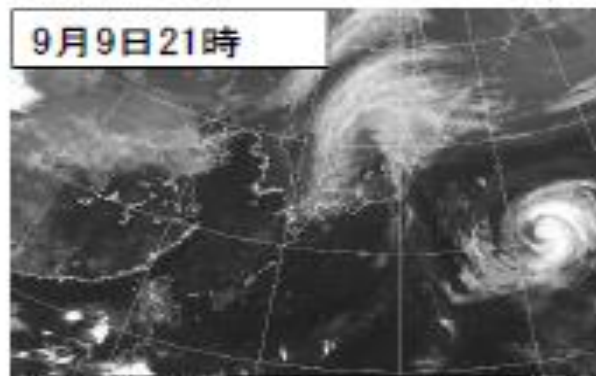
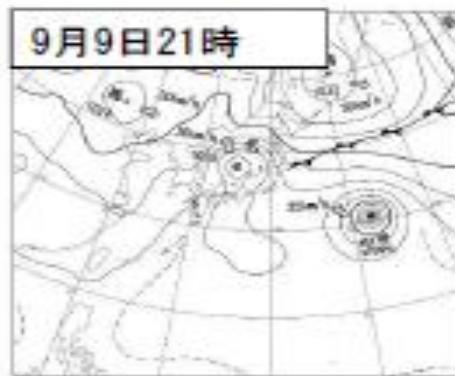
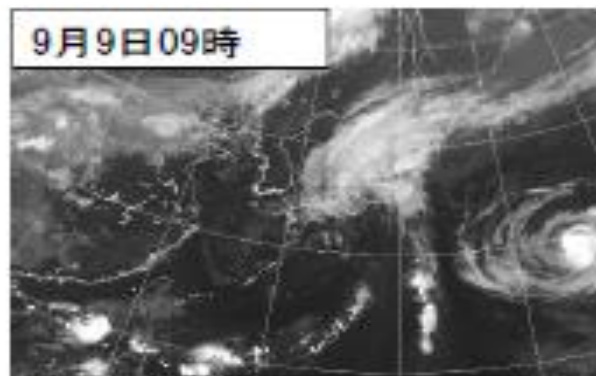
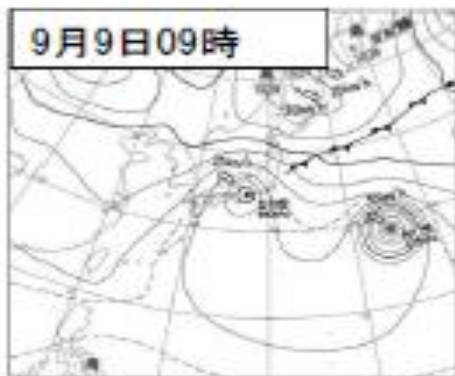


台風経路図（日時、中心気圧（hPa））速報解析



台風経路図（日本域拡大図）速報解析

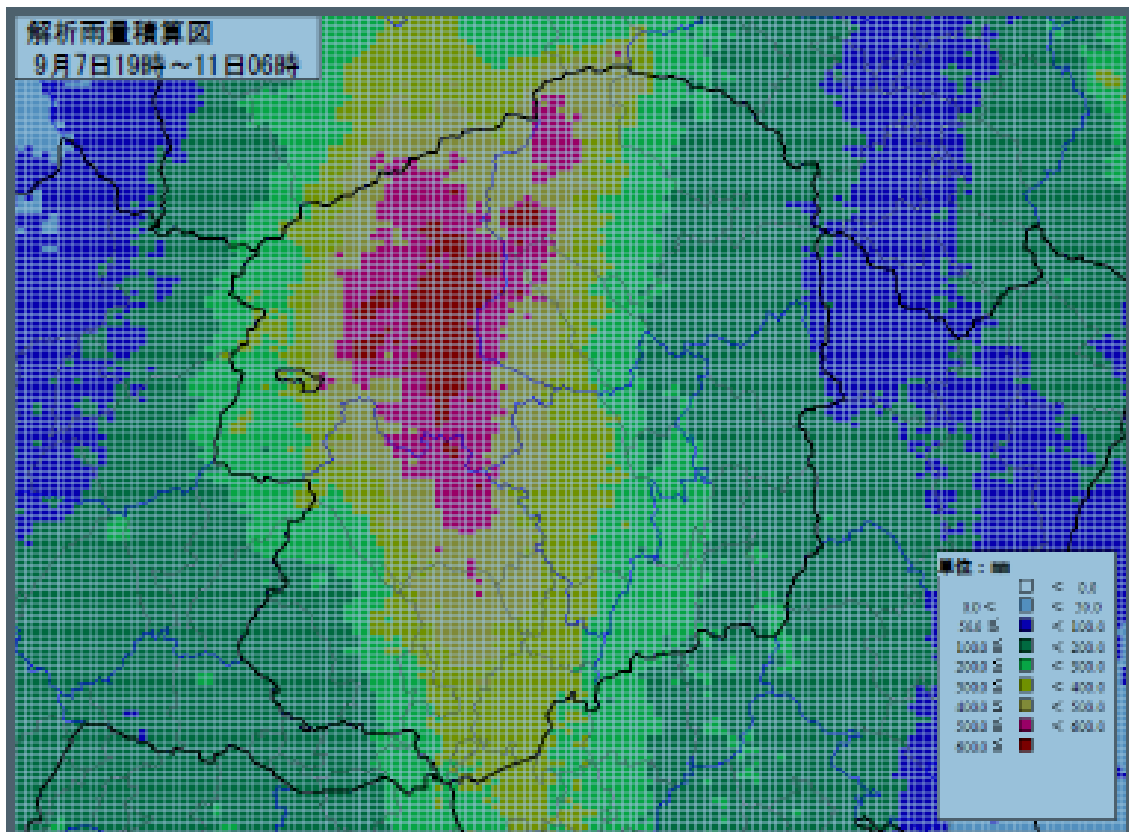
② 地上天気図及び気象衛星赤外面像



③ 雨の状況

解析雨量では、7日18時から11日06時までの総降水量は、日光地域や那須地域及び南西部で500ミリを超える雨を解析し、特に日光市や那須塩原市では、800ミリを超えた所があった。

○解析雨量※（7日 18時から 11日 06時までの84時間積算）



※解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1 km四方ごとに過去1時間雨量を解析したものです。

1.1.2 栃木県土砂災害警戒情報 第3号

栃木県土砂災害警戒情報 第3号

平成27年9月9日 16時55分

栃木県 宇都宮地方気象台 共同発表

【警戒対象地域】

足利市 栃木市* 佐野市* 鹿沼市* 日光市

*印は、新たに警戒対象となった市町村を示します。

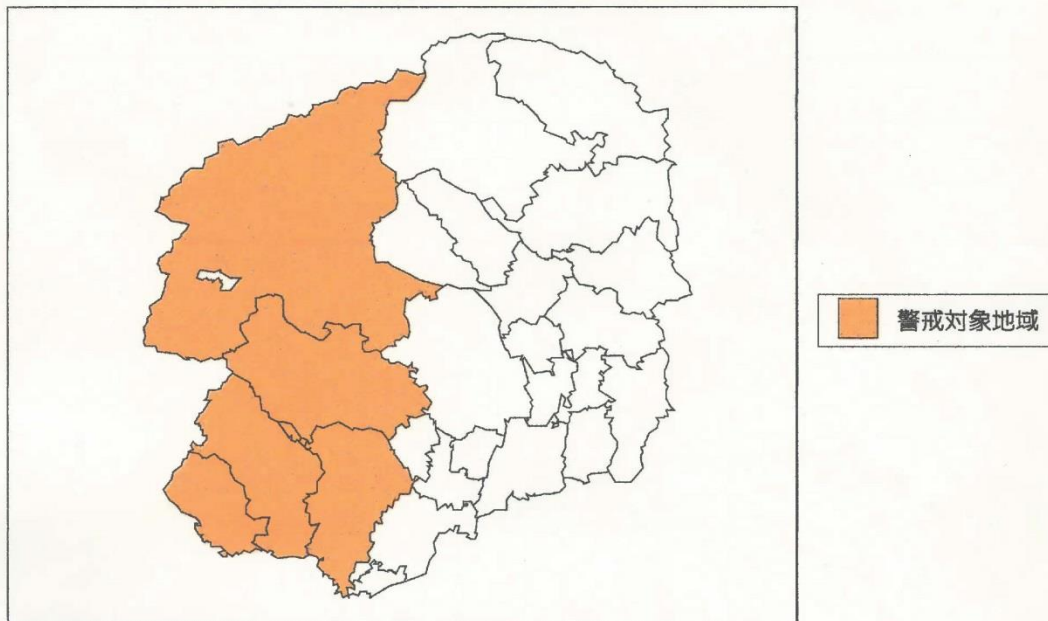
【警戒文】

《概況》

降り続く大雨のため、警戒対象地域では土砂災害の危険度が高まっています。

《とるべき措置》

崖の近くなど土砂災害の発生しやすい地区にお住まいの方は、早めの避難を心がけるとともに、市町から発表される避難勧告などの情報に注意してください。



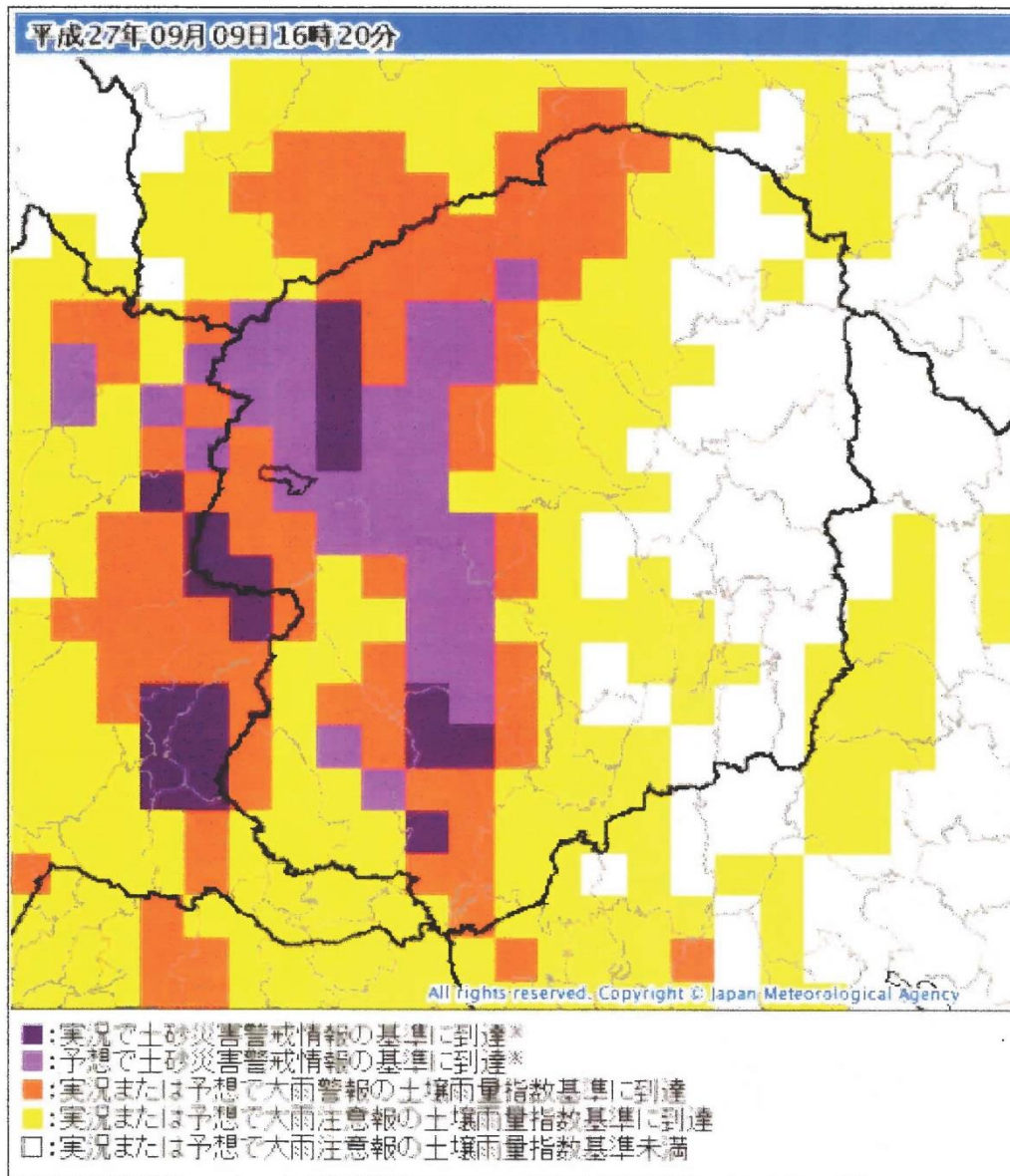
問い合わせ先
028-623-2454 (栃木県県土整備部砂防水資源課)
028-633-2767 (宇都宮地方気象台)

1.1.3 土砂災害警戒判定メッシュ情報 平成27年9月9日 16時20分

気象庁 | 土砂災害警戒判定メッシュ情報

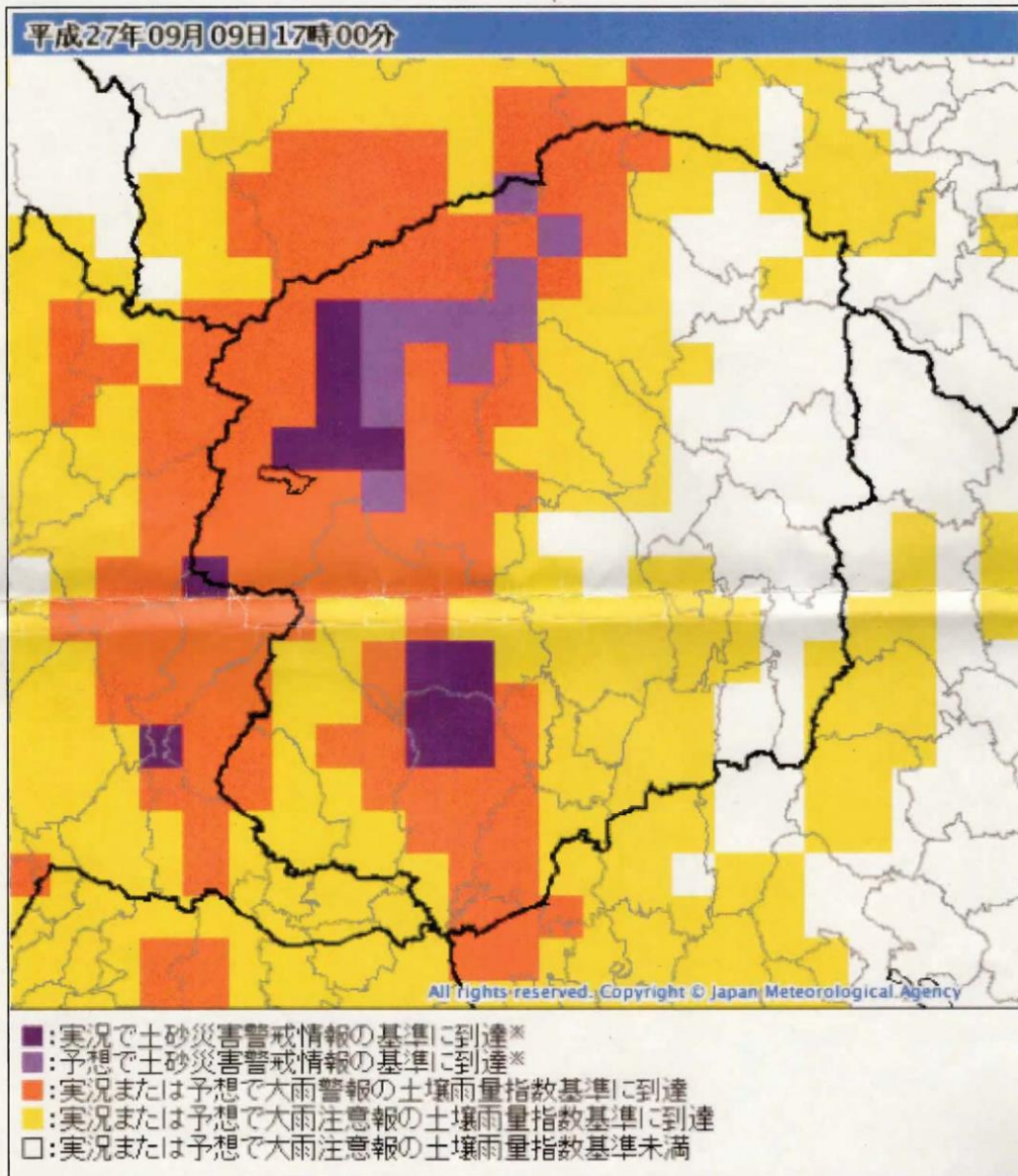
1/1 ページ

土砂災害警戒判定メッシュ情報: 栃木県



1.1.4 土砂災害警戒判定メッシュ情報
平成27年9月9日 17時00分

土砂災害警戒判定メッシュ情報: 栃木県



1.1.5 河川水位情報

河川名	観測所名	基準水位 (m)			
		水防団待機 (通報)	氾濫注意 (警戒)	避難判断 (特別警戒)	氾濫危険 (危険)
巴波川	①中里	2.0	2.7	5.1	5.5
	②倭橋	0.7	1.0	1.8	2.3
思川	③大光寺橋	—	—	—	—
	④保橋	1.5	1.8	5.4	5.9
永野川	⑤山下橋	—	—	—	—
	⑥大平橋上	2.1	2.8	4.2	4.7
	⑦永倉橋	1.7	2.3	—	—
渡良瀬川	⑧藤岡	2.6	4.1	—	—
	⑨古河	2.7	4.7	8.4	8.9

※現況写真

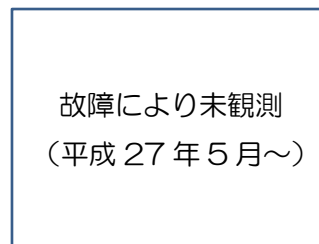
巴波川【①中里】



巴波川【②倭橋】



思川【③大光寺橋】



思川【④保橋】



永野川【⑤山下橋】



永野川【⑥大平橋上】



永野川【⑦永倉橋】



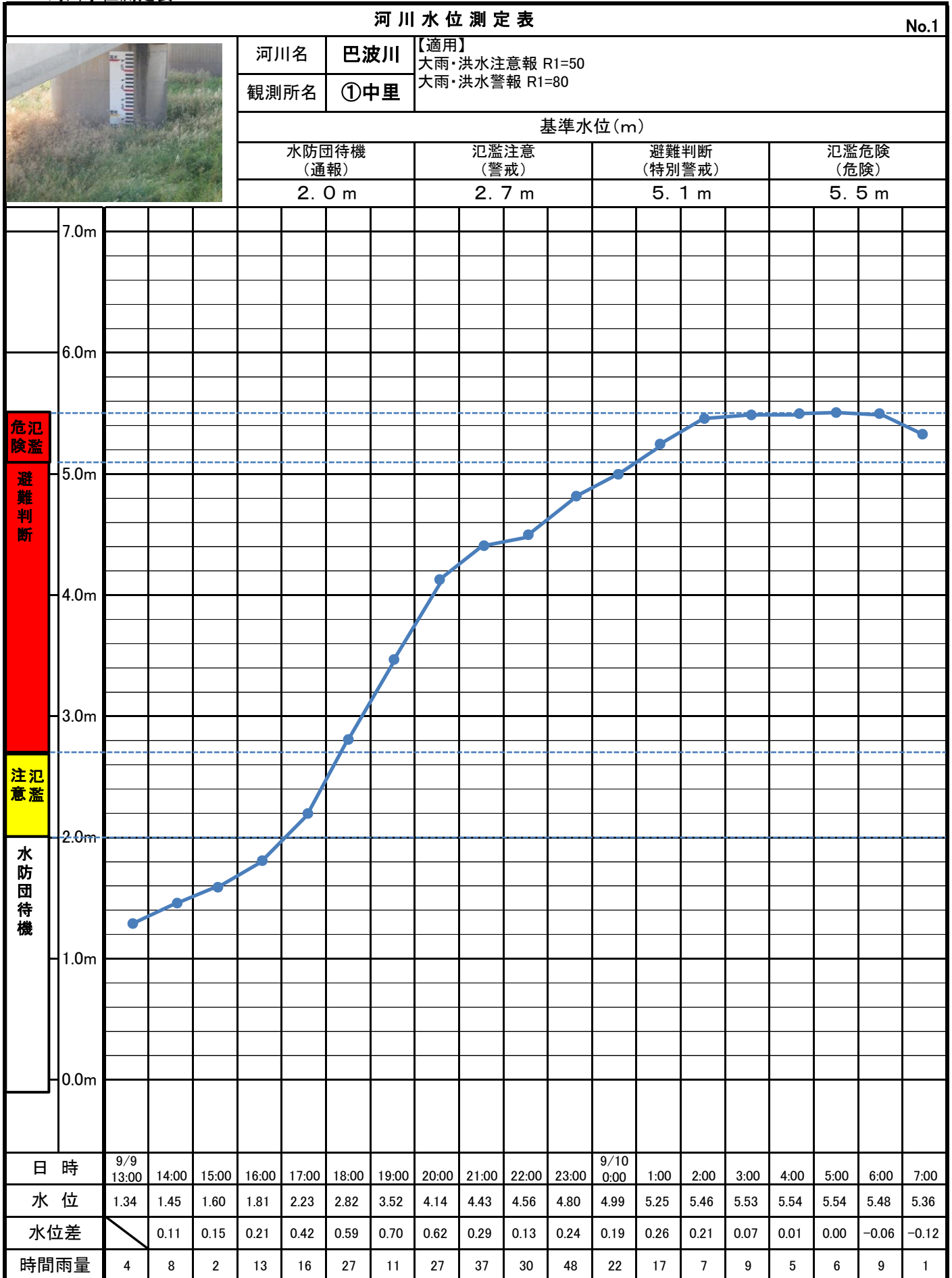
渡良瀬川【⑧藤岡】



渡良瀬川【⑨古河】



1.1.6 河川水位測定表



※時間雨量は(県)栃木土木雨量観測局 (栃木市神田町) の数値を使用

河川水位測定表

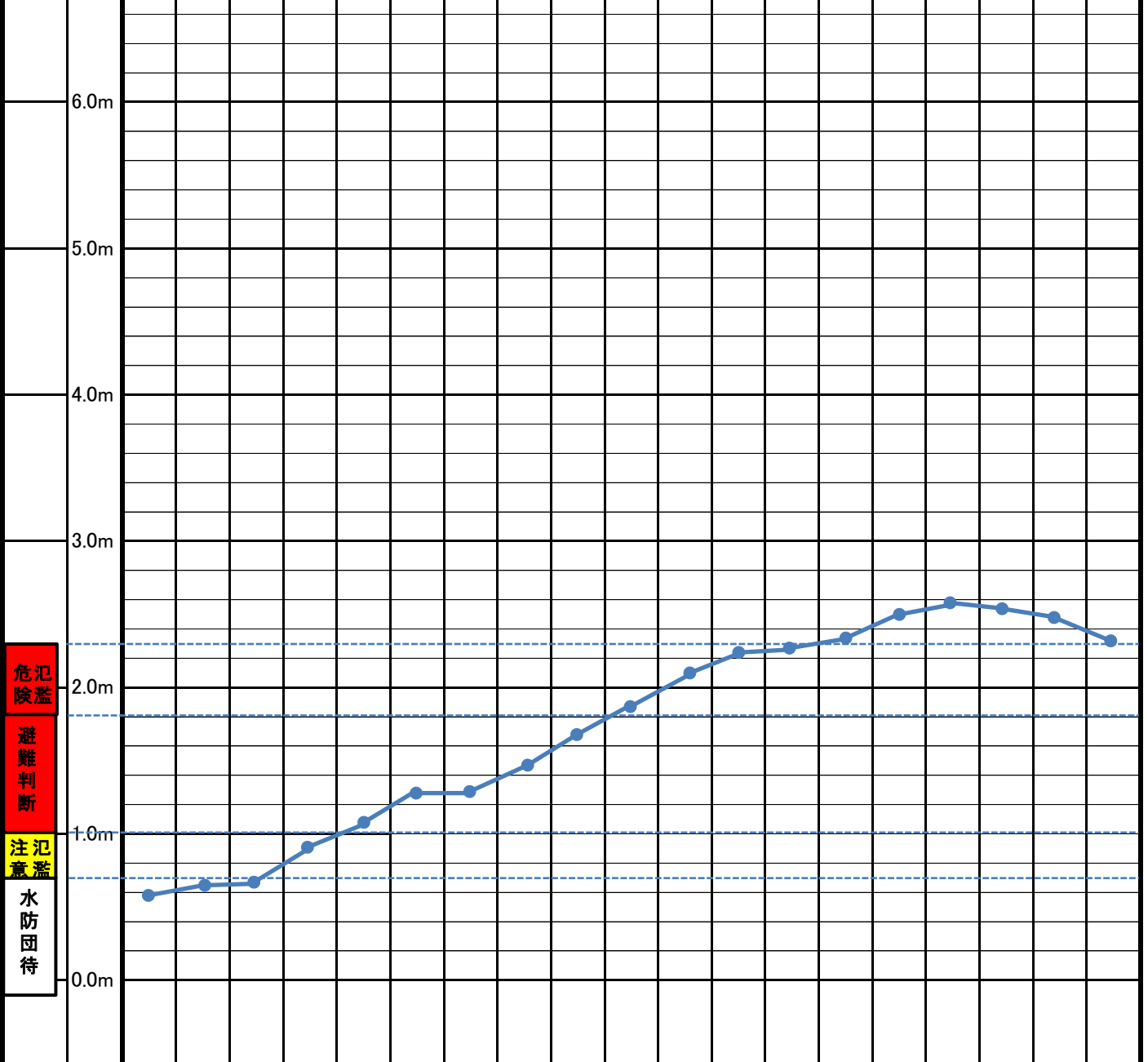
No.2



河川名	巴波川	【適用】 大雨・洪水注意報 R1=50 大雨・洪水警報 R1=80
観測所名	②倭橋	

基準水位(m)

水防団待機 (通報)	氾濫注意 (警戒)	避難判断 (特別警戒)	氾濫危険 (危険)
0.7 m	1.0 m	1.8 m	2.3 m



日時	9/9 13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	9/10 0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00
水位	0.58	0.66	0.65	0.91	1.06	1.29	1.27	1.44	1.68	1.86	2.09	2.22	2.27	2.34	2.51	2.58	2.53	2.46	2.34
水位差		0.08	-0.01	0.26	0.15	0.23	-0.02	0.17	0.24	0.18	0.23	0.13	0.05	0.07	0.17	0.07	-0.05	-0.07	-0.12
時間雨量	4	8	2	13	16	27	11	27	37	30	48	22	17	7	9	5	6	9	1

※時間雨量は(県)栃木土木雨量観測局(栃木市神田町)の数値を使用

河川水位測定表

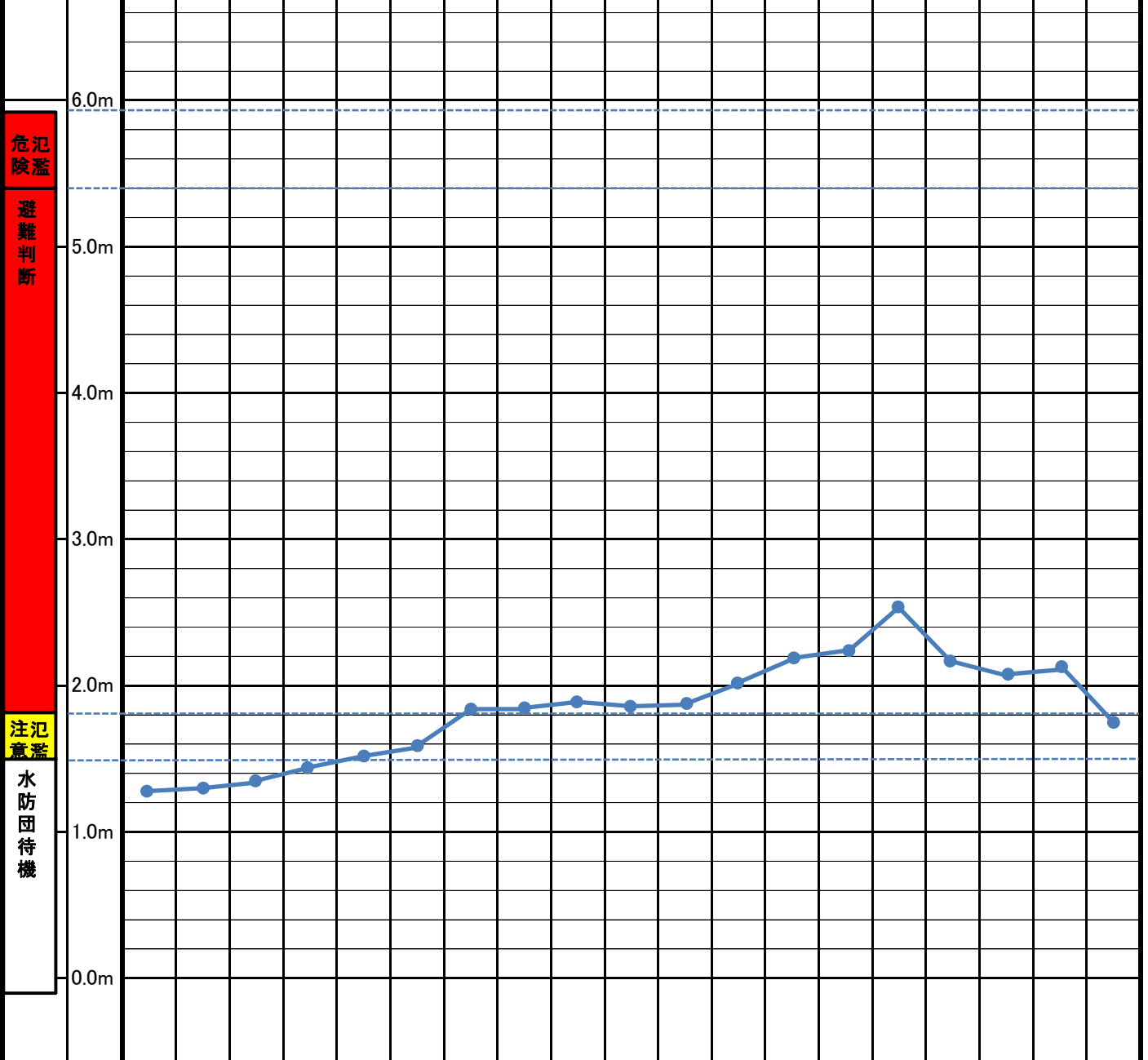
No.3



河川名	思川	【適用】 大雨・洪水注意報 R1=50 大雨・洪水警報 R1=80
観測所名	④保橋	

基準水位(m)

水防団待機 (通報)	氾濫注意 (警戒)	避難判断 (特別警戒)	氾濫危険 (危険)
1.5 m	1.8 m	5.4 m	5.9 m



日時	9/9 13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	9/10 0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00
水位	1.26	1.29	1.35	1.43	1.53	1.58	1.82	1.83	1.91	1.85	1.85	2.02	2.19	2.22	2.55	2.17	2.06	2.11	1.75
水位差		0.03	0.06	0.08	0.10	0.05	0.24	0.01	0.08	-0.06	0.00	0.17	0.17	0.03	0.33	-0.38	-0.11	0.05	-0.36
時間雨量	6.0	8.0	2.0	3.0	13.0	35.0	15.0	20.0	41.0	30.0	23.0	40.0	22.0	28.0	2.0	2.0	16.0	6.0	2.0

※時間雨量は(国)壬生雨量観測局(壬生町壬生乙)の数値を使用

河川水位測定表

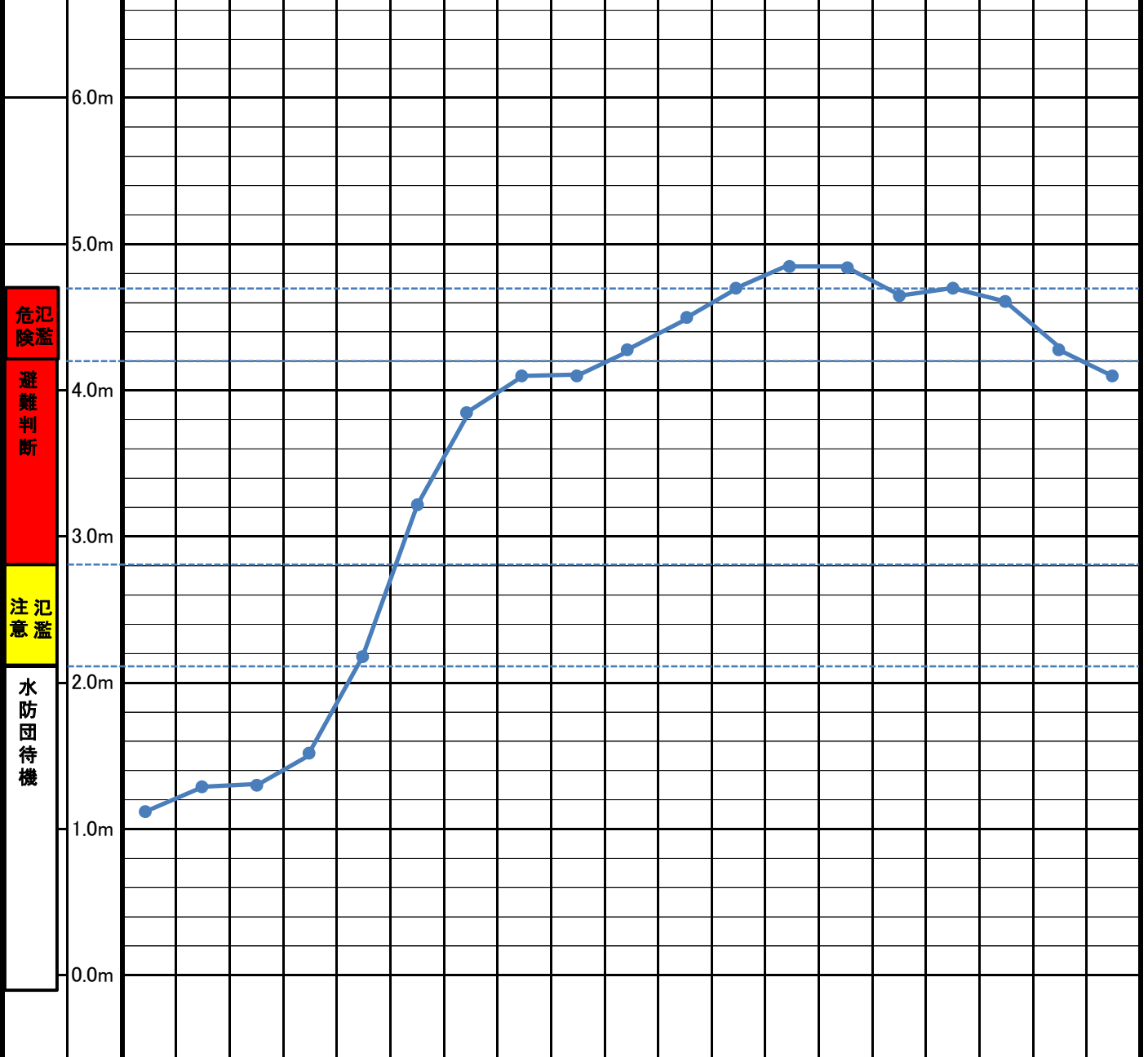
No.4



河川名 永野川 【適用】
大雨・洪水注意報 R1=80
大雨・洪水警報 R1=120
観測所名 ⑥大平橋上

基準水位(m)

水防団待機 (通報)	氾濫注意 (警戒)	避難判断 (特別警戒)	氾濫危険 (危険)
2.1 m	2.8 m	4.2 m	4.7 m



日時	9/9 13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	9/10 0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00
水位	1.09	1.26	1.28	1.52	2.18	3.21	3.84	4.08	4.13	4.26	4.51	4.73	4.87	4.84	4.65	4.70	4.63	4.32	4.10
水位差		0.17	0.02	0.24	0.66	1.03	0.63	0.24	0.05	0.13	0.25	0.22	0.14	-0.03	-0.19	0.05	-0.07	-0.31	-0.22
時間雨量	4	8	2	13	16	27	11	27	37	30	48	22	17	7	9	5	6	9	1

※時間雨量は(県)栃木土木雨量観測局(栃木市神田町)の数値を使用

河川水位測定表

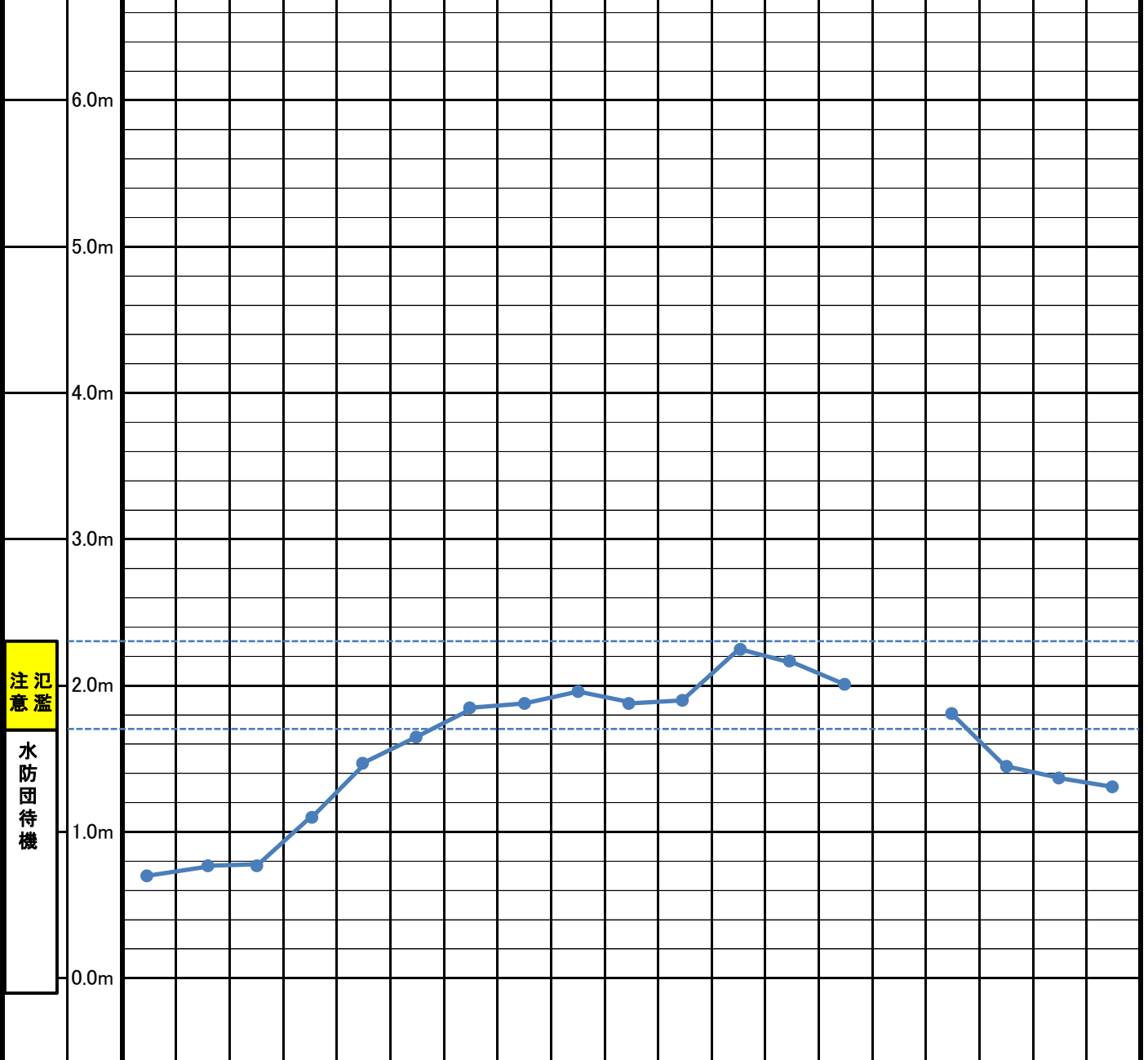
No.5



河川名	永野川	【適用】 大雨・洪水注意報 R1=80 大雨・洪水警報 R1=120
観測所名	⑦永倉橋	

基準水位(m)

水防団待機 (通報)	氾濫注意 (警戒)	避難判断 (特別警戒)	氾濫危険 (危険)
1.7 m	2.3 m	—	—



注意 氾濫
水防団待機

日時	9/9 13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9/9 18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	9/10 0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00
水位	0.71	0.75	0.78	1.10	1.44	1.65	1.84	1.87	1.95	1.87	1.89	2.24	2.16	2.01	欠測	1.80	1.44	1.39	1.31
水位差		0.04	0.03	0.32	0.34	0.21	0.19	0.03	0.08	-0.08	0.02	0.35	-0.08	-0.15			-0.36	-0.05	-0.08
時間雨量	7.0	5.0	2.0	36.0	32.0	36.0	4.0	23.0	14.0	22.0	36.0	12.0	12.0	12.0	21.0	15.0	2.0	3.0	0.0

※時間雨量は(国)梅沢雨量観測局 (栃木市鍋山町) の数値を使用

河川水位測定表

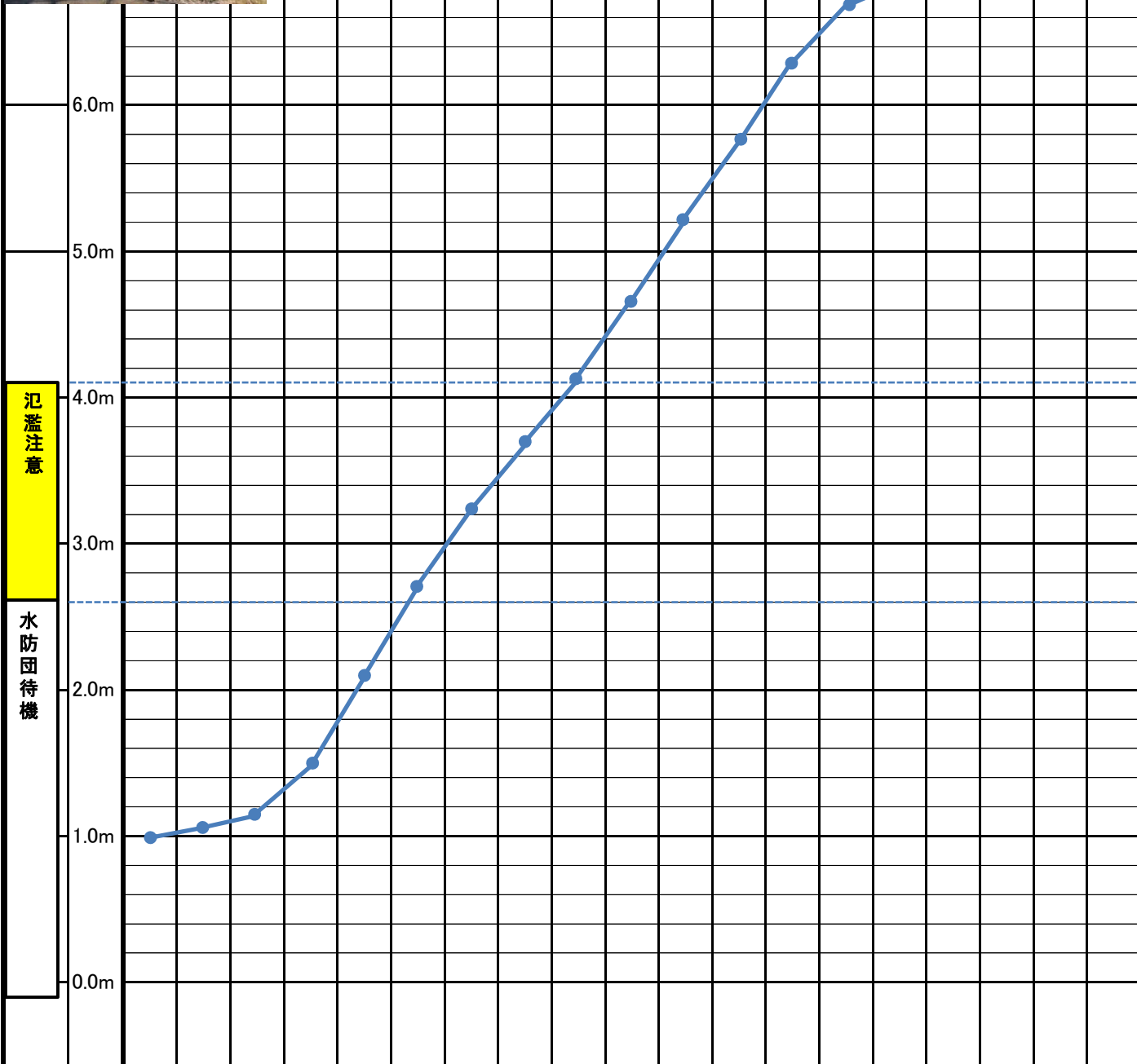
No.6



河川名 **渡良瀬川** 【適用】
大雨・洪水注意報 R1=50
観測所名 **⑧藤岡** 大雨・洪水警報 R1=80

基準水位(m)

水防団待機 (通報)	氾濫注意 (警戒)	避難判断 (特別警戒)	氾濫危険 (危険)
2.6 m	4.1 m	—	—



日時	9/9 13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	9/10 0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00
水位	0.99	1.04	1.16	1.53	2.10	2.69	3.23	3.67	4.13	4.66	5.20	5.75	6.31	6.70	6.84	6.86	6.86	6.86	6.84
水位差		0.05	0.12	0.37	0.57	0.59	0.54	0.44	0.46	0.53	0.54	0.55	0.56	0.39	0.14	0.02	0	0	-0.02
時間雨量	8.0	5.0	19.0	29.0	37.0	8.0	2.0	3.0	19.0	10.0	27.0	8.0	5.0	11.0	27.0	4.0	2.0	1.0	1.0

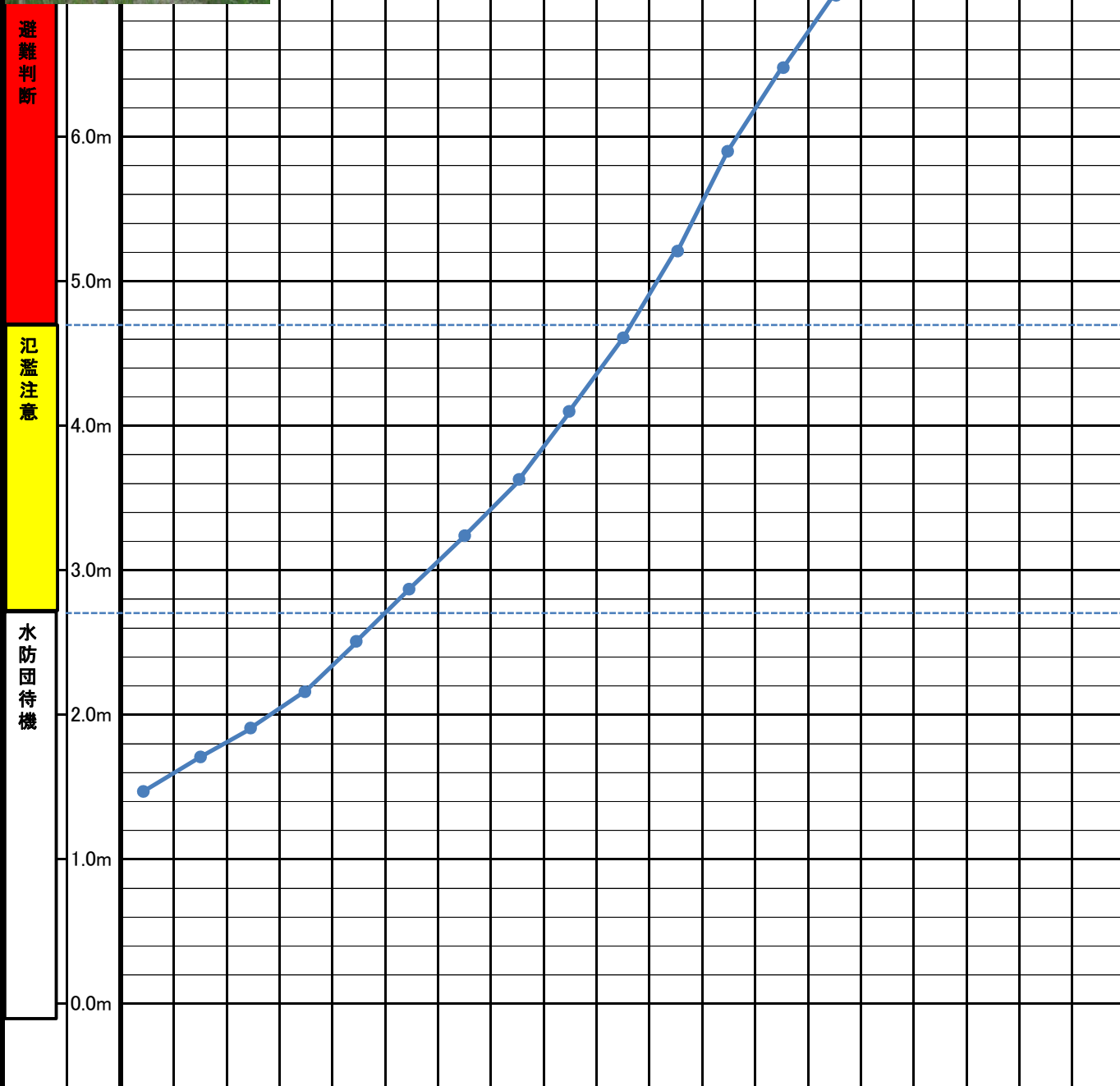
※時間雨量は(国)藤岡雨量観測局 (栃木市藤岡町藤岡) の数値を使用

河川水位測定表

No.7



河川名	渡良瀬川	【適用】 大雨・洪水注意報 R1=50
観測所名	㊟古河	大雨・洪水警報 R1=80
基準水位 (m)		
水防団待機 (通報)	氾濫注意 (警戒)	避難判断 (特別警戒)
2.7 m	4.7 m	8.4 m
		氾濫危険 (危険)
		8.9 m



日時	9/9 13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	9/10 0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00
水位	1.45	1.68	1.92	2.19	2.52	2.86	3.26	3.63	4.12	4.61	5.22	5.90	6.52	6.99	7.22	7.32	7.35	7.35	7.34
水位差		0.23	0.24	0.27	0.33	0.34	0.40	0.37	0.49	0.49	0.61	0.68	0.62	0.47	0.23	0.10	0.03	0.00	-0.01
時間雨量																			

1.2 浸水被害状況

1.2.1 河川等の氾濫状況

主要な河川による浸水面積は次のとおりである。

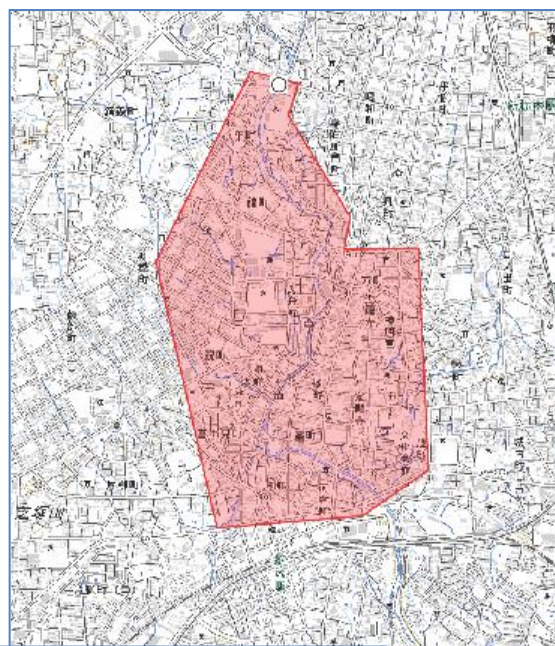
河川名	氾濫地区	浸水面積 (ha)	摘要
巴波川	入舟町外、部屋	約 404 ha	溢水、浸水
永野川	片柳町、蔵井、真弓	約 28 ha	浸水
赤津川	木野地町	約 20 ha	溢水
合計	6地域	約 452 ha	

1.2.2 巴波川（入舟町外）溢水被害（約 171ha）

箱森町地内、巴波川と荒川の合流点より下流の原ノ橋付近から氾濫が起り、小平町から錦町周辺にかけて被害が発生している。

また、入舟町や万町から栃木駅周辺にかけては、巴波川の水位が最大となっているため、周辺の水路や道路側溝の水も流入することができなくなり、広範囲に床上、床下浸水被害が生じた。

巴波川に隣接したところで、約 1m、大通り沿いで約 60 cmの浸水となった。



9月10日午前 7:00 蔵の街大通り



9月10日午前 巴波川沿い



9月10日午前7時 開運橋



9月10日早朝 栃木イオン

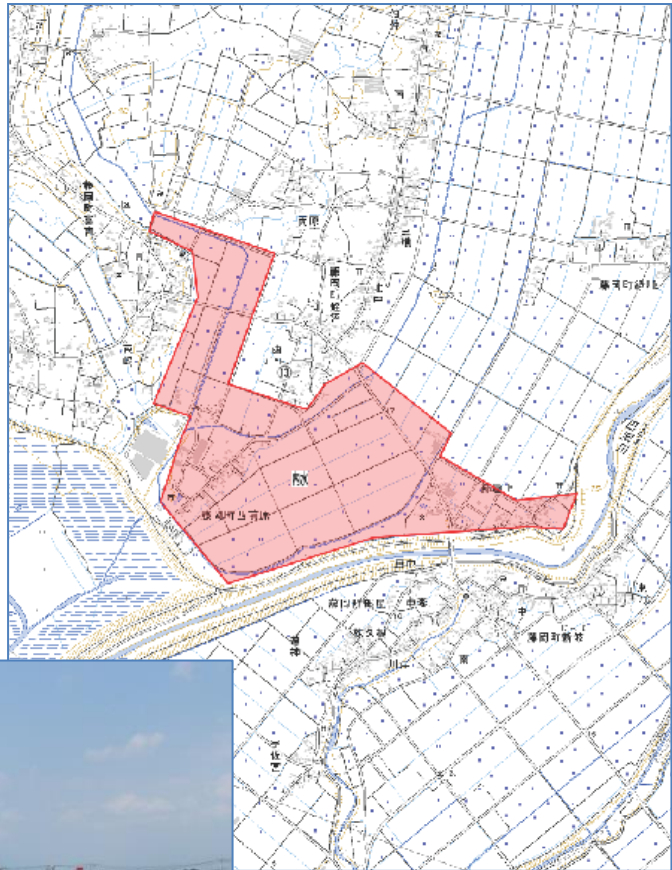


1.2.3 巴波川（藤岡町部屋）浸水被害（約 233ha）

西前原にある排水機場の停止に伴い上流から集まった水が排水できなくなり、大規模な農地や宅地の被害が生じた。

避難所である、部屋小学校や部屋地区公民館が浸水被害を受けている。

浸水深は、1mを超えている。



9月10日午前 部屋小学校



9月10日午前 藤岡ライスセンター



9月12日午前 部屋小へ向う先生

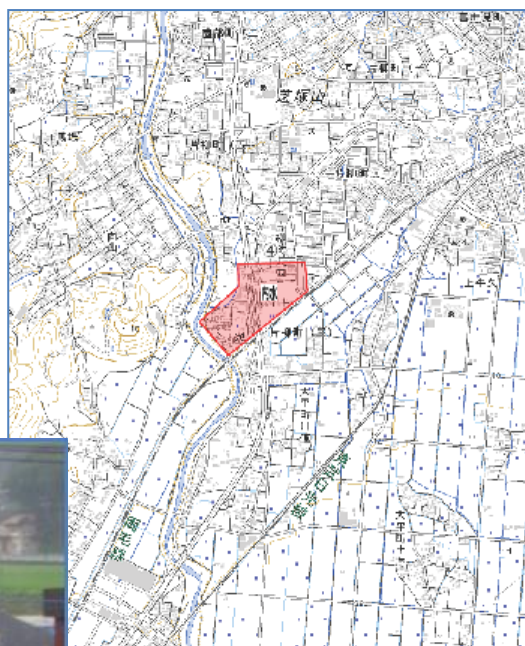


1.2.4 永野川（片柳町）浸水被害（約11ha）

一級河川永野川に流入する旧永野川については、永野川との水位の関係に伴い排水ができなくなり、周辺の内水氾濫を引き起こしたと考えられる。

永野川と両毛線に囲まれ、排水しにくい地形である。

浸水深は、最大で1mを超えていた。



9月10日 片柳市営住宅



1.2.5 永野川（大平町蔵井）浸水被害（約4ha）

永野川に流入する農業用水の排水施設が故障したことにより、永野川への排水ができなくなったことから被害が生じた。

浸水深は、概ね50cm以下である。



9月10日 西元排水機場



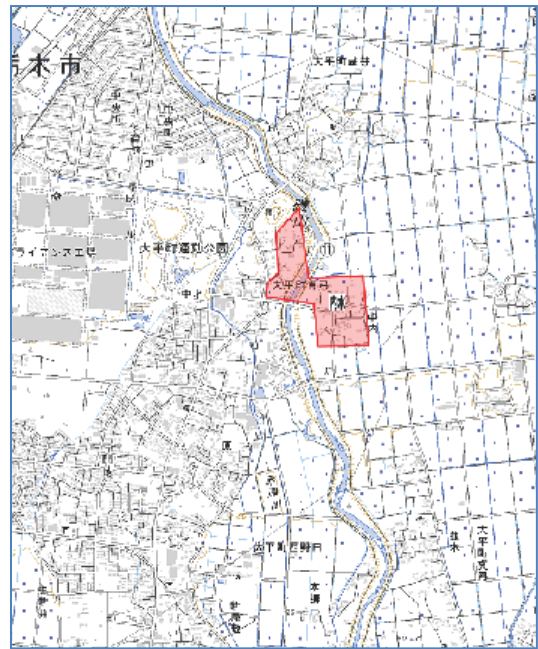
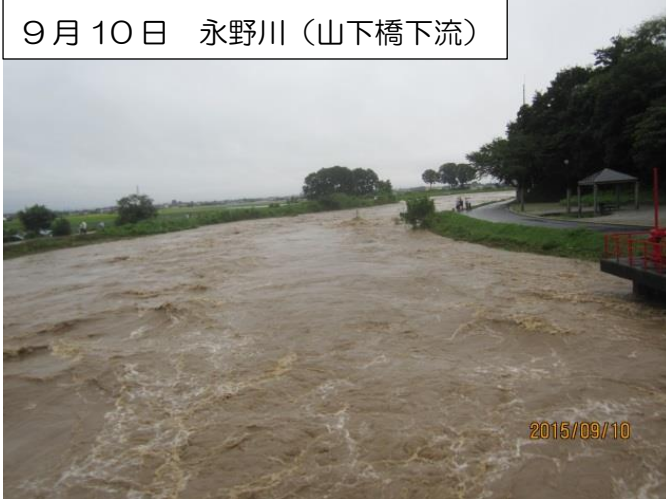
9月10日 西元排水機場



1.2.6 永野川（大平町真弓）浸水被害（約 13ha）

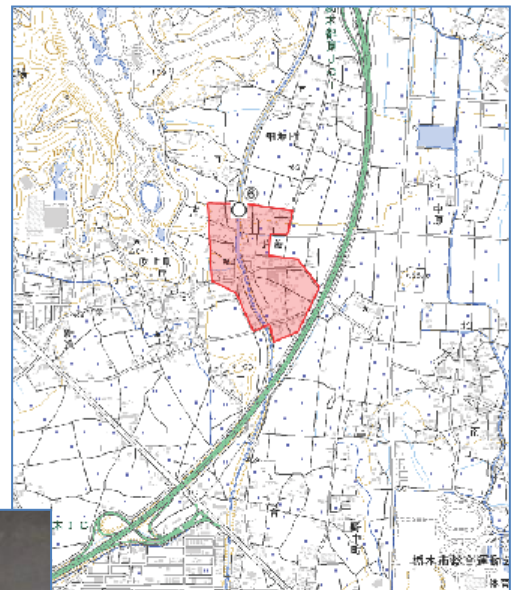
一級河川永野川に水位上昇により、接続する水路からの排水ができなくなり、周辺の宅地に浸水被害が生じた。

9月10日 永野川（山下橋下流）



1.2.7 赤津川（木野地町）浸水被害（約 20ha）

一級河川赤津川において、河川の流下能力を上回る水量により、堤防を越流する被害が生じた。
河川周辺の住宅において、1mを超える浸水被害が生じた。



9月10日 吹上地内土砂流入



1.2.8 その他の氾濫被害

9月10日 西方町東北道アンダーパス



9月10日 岩舟町三杉川



9月10日 都賀町逆川



1.3 土砂災害状況

9月10日市道 T③ - 214 号線(ひばり野学園)



9月16日 小野口町土砂崩れ



9月10日 都賀西方町国道 293 号土砂崩れ



9月10日 西方町水木土砂崩れ



9月10日 大平町西山田土砂崩れ



9月10日 市道C211号線



1.4 災害対策本部等の設置状況

1.4.1 栃木市災害対策本部等の設置状況

台風の接近に伴い、9月9日の午後から地域防災計画に基づく準備体制をとり、その後、土砂災害警戒情報の発表に伴い、災害警戒本部を設置し警戒体制をとった。

さらに、巴波川の河川水位の状況により、災害対策本部へ移行した。

日 時	栃木市の体制	備 考
9月9日 13:38	地域防災計画における準備体制	【発表】大雨・洪水警報
9月9日 13:56	消防水防活動の開始	
9月9日 16:55		【発表】土砂災害警戒情報第3号
9月9日 17:00	災害警戒本部設置を決定	
9月9日 17:30	災害警戒本部の設置	
9月9日 18:15		【発表】土砂災害警戒情報第4号
9月9日 18:20		【発表】永野川 氾濫注意情報
9月9日 18:50		【発表】土砂災害警戒情報第5号
9月9日 19:50		【発表】思川 氾濫注意情報
9月9日 19:55		【発表】土砂災害警戒情報第6号
9月9日 21:00		【発表】土砂災害警戒情報第7号
9月9日 21:30	災害対策本部に移行	
9月9日 22:25		【発表】永野川 氾濫警戒情報
9月10日 0:00	第1回災害対策本部会議	
9月10日 0:20		【発表】大雨特別警報
9月10日 1:15		【発表】永野川 氾濫危険情報
9月10日 2:30		【発表】思川 氾濫警戒情報
9月10日 4:00	第2回災害対策本部会議	
9月10日 6:30		【発表】土砂災害警戒情報第8号
9月10日 7:45		【発表】土砂災害警戒情報第9号
9月10日 8:30		【発表】土砂災害警戒情報第10号
9月10日 9:00	第3回災害対策本部会議	
9月10日 10:50		【発表】永野川 氾濫警戒情報
9月10日 14:55		【発表】土砂災害警戒情報第11号
9月10日 15:00		【発表】永野川 氾濫注意情報
9月10日 16:00	第4回災害対策本部会議	
9月10日 23:55		【発表】土砂災害警戒情報第12号
9月11日 5:15		【発表】土砂災害警戒情報 解除
9月11日 11:00	第5回災害対策本部会議	
9月11日 16:00	第6回災害対策本部会議	

1.4.2 避難勧告等の発令状況

9月9日 16:55 の土砂災害警戒情報の発表に伴い、17:30 に避難勧告を発令した。その避難勧告に併せて7箇所の避難所を開設した。

その後は、災害の発生が予測される地区に、順次、避難勧告を発令し、18箇所の避難所を開設した。

日時	発令名	対象地区	対象世帯数	対象人数
9月9日 17:30	避難勧告	寺尾、皆川、吹上、西山田、大柿、真名子、小野寺地区	8,300	23,000
9月9日 19:45	避難勧告	平井町、平井町公園地内、菌部町4丁目、下皆川	1,958	4,834
9月9日 21:00	避難勧告	錦町、万町、入舟町、湊町、倭町	1,190	2,660
9月9日 23:00	避難勧告	栃木南中周辺	5,000	11,000
9月9日 23:35	避難勧告	真弓東自治会、川連	823	2,258
9月10日 0:00	避難指示	部屋、新波、石川、帯刀、緑川地区	454	1,449
9月10日 1:30	避難指示	これまでの避難勧告を引き上げ		
9月10日 1:30	避難指示	菌部町2・3丁目、片柳町4・5丁目、蔵井地区、真弓地区	2,342	6,039
9月10日 2:00	避難指示	藤岡台沼自治会	51	161
9月10日 4:30	避難指示	西前原自治会、蛭沼北仲自治会、蛭沼西南自治会	90	250
9月10日 9:50	避難指示	下高島自治会	81	250
9月11日 6:30	解除	全ての避難指示を解除		
9月11日 14:00	避難指示	部屋、新波、石川、帯刀地区	425	1,336
9月12日 15:00	解除	全ての避難指示を解除		

※最大避難指示対象数 20,289 世帯 51,901 人

1.4.3 豪雨災害時の宇都宮地方気象台情報と災害状況に対する栃木市活動状況

【9月9日(水)】

時刻	宇都宮地方気象台情報	災害状況	栃木市活動状況
13:00	13:38 発表【大雨・洪水警報】		13:00～19:30【水路、農地の冠水、土砂の崩壊等、過去の被害箇所(栃木地域)を被災状況確認】 13:38【準備体制】 13:56【消防水防活動開始】
14:00			
15:00			
16:00	16:55 発表【土砂災害警戒情報 第3号】	16:10【藤岡町西前原排水機場1号ポンプ運転開始】 16:20【藤岡町西前原排水機場2号ポンプ運転開始】 16:30【藤岡町西前原排水機場3号ポンプ運転開始】 16:40【平井町市道A56号線及び周辺宅地冠水】 16:45【新井町東北道ボックス栃木1冠水により通行止め】	
17:00			17:00【災害警戒本部設置を決定】 17:30【災害警戒本部を設置】 17:30【避難勧告発令(皆川・吹上・寺尾・西山田・大柿・真名子・小野寺地区)】 17:30【避難所開設(寺尾公民館・吹上公民館・皆川公民館・大平公民館・大柿コミュニティセンター・真名子夢ホール・岩舟公民館)】 17:40～23:30【土のう作成(職員延べ17人、600袋)】
18:00	18:15 発表【土砂災害警戒情報 第4号】 18:20 発表【永野川 氾濫注意情報】 18:50 発表【土砂災害警戒情報 第5号】	18:00【柏倉町市道D136号線沢からの土砂散乱により通行止め】	
19:00	19:50 発表【思川 氾濫注意情報】 19:55 発表【土砂災害警戒情報 第6号】	19:30【片柳市営住宅避難開始】 19:50【城内町2丁目市道A11号線道路冠水により通行止め】	19:45【避難勧告発令(平井町・菌部町4丁目・下皆川)】 19:45【避難所開設(長寿園)】
20:00		20:45【吹上町市道114号線(伊吹橋)赤津川危険水位により警察において通行止め】 20:45【吹上町市道114号線東北道ボックス栃木9冠水により通行止め】 20:55【巴波川開運橋周辺溢水】	
21:00	21:00 発表【土砂災害警戒情報 第7号】	21:25【菌部町4丁目市道110号線栃木工業高校東道路冠水により通行止め】 21:30【蛭沼浄水場・甲増圧ポンプ場停止】 21:30【箱森町清水川が溢水土のうを運搬しようとしたが途中で車両が水没】	21:00【避難勧告発令(万町・倭町・入舟町・湊町・錦町)】 21:00【避難所開設(栃木中央小)】 21:30【災害対策本部に移行】 21:30【非常体制】

		21:30【富士見町土のうを運搬しようとしたが途中で車両が水没】 21:30【片柳町1丁目土のうを運搬しようとしたが途中で車両が水没】 21:40【樋ノ口町市道 B52 号線道路冠水により通行止め】	
22:00	22:00 確認【永野川(県)大平橋上水位観測所の水位が避難判断水位を越える】 水位 4.26m(避難判断水位 4.20m) 22:00 確認【巴波川(県)倭橋水位観測所の水位が避難判断水位を越える】 水位 1.85m(避難判断水位 1.80m) 22:25 発表【永野川 氾濫警戒情報】	22:30【大平町蔵井排水機場停止】	22:00【長寿園 救護所設置・避難者救護・感染症予防・健康相談】 22:45【避難所開設(栃木西中学校・栃木南中学校・西方保健センター)】
23:00	23:00 確認【思川(国)乙女水位観測所の水位が避難判断水位を越える】 水位 8.23m(避難判断水位 8.00m)	23:30【大皆川町市道 227 号線道路冠水により通行止め】	23:00【避難勧告発令(栃木南中周辺)】 23:35【避難勧告発令(真弓東自治会・川連)】 23:35【避難所開設(真弓集会場・大平東地区公民館)】

【9月10日(木)】

時刻	宇都宮地方気象台情報	災害状況	栃木市活動状況
1:00	1:00 確認【巴波川(国)中里水位観測所の水位が避難判断水位を越える】 水位 5.25m(避難判断水位 5.20m) 1:15 発表【永野川 氾濫危険情報】	1:00【国道 293 号都賀と西方の境でがけ崩れ片側通行止め】 1:00【菌部浄水場送水ポンプ室に水が浸入しポンプが水没】 1:30【大平町西水代千部橋の一部が落橋したため、通行止め】 1:45【蛭沼浄水場ポンプ停止】	1:30【避難勧告発令済みの地区を避難指示に変更】 1:30【避難指示発令(菌部町 2・3 丁目、片柳町 4・5 丁目、蔵井・真弓)】 1:40【避難所開設(西方総合文化体育館)】
2:00	2:00 確認【巴波川(県)倭橋水位観測所の水位が氾濫危険水位を越える】 水位 2.34m(氾濫危険水位 2.30m) 2:30 発表【思川氾濫警戒情報】		2:00【避難指示発令(藤岡町都賀地区台沼自治会)】
3:00	3:00 確認【永野川(国)中里水位観測所の水位がはん濫危険水位を越える】 水位 5.53m(氾濫危険水位 5.50m)	3:26【大平町富田建物火災】 3:46【都賀町深沢地内逆川左岸洗掘、消防竹流し工法実施】	

4:00		4:20【藤岡町西前原排水機場ポンプ停止】 4:45【大平町かかしの里北側土砂崩れ】	4:00【第2回災害対策本部会議】 4:30【藤岡総合支所災害対応召集（産業振興課職員）】 4:30【避難指示発令（西前原、蛭沼北仲、蛭沼西南自治会）】
5:00	5:00 確認【永野川（県）大平橋上水位観測所の水位がはん濫危険水位を下まわる】 水位 4.63m（氾濫危険水位 4.70m）		5:00【給水応援依頼（佐野市）】 5:00【千塚町上川原産業団地工事現場への被災現場の残土搬入に関する協議】 5:30【入舟保育園巴波川氾濫のため、はこのもり保育園で保育実施とする。】 5:45【大平南第2保育園永野川危険水位及び通行困難のため、大平みなみ児童館で保育し、給食は大平南第1保育園にて調理する】 5:50【水道連絡管のバルブ操作により送水開始】（佐野市、岩舟、大平）
6:00	6:30 発表【土砂災害警戒情報 第8号】	6:00【ひばり野学園 市道の土砂崩れにより施設一部損壊】 6:03【大平町建物火災】 6:46【木野地町土砂崩れにより通行止め】	6:00【赤麻・大前・三鴨・部屋地内断水広報活動開始】
7:00	7:45 発表【土砂災害警戒情報 第9号】		7:00【産業団地等立地企業等の被害状況の調査】 7:10【三鴨保育園地域内断水及び通行困難のため、藤岡保育園にて保育実施とする。】 7:30【避難所開設（栃木東中学校）】
8:00	8:00 確認【巴波川（県）倭橋水位観測所の水位が氾濫危険水位を下まわる】 水位 2.14m（氾濫1危険水位 2.30m） 8:30 発表【土砂災害警戒情報 第10号】	8:00【大平町地内巴波川右岸感際橋北堤防の洗掘を確認】	8:00【日水協栃木県支部（宇都宮市）へ給水応援依頼】 8:00【市内公立学童保育を朝8時より開設し、児童の受入体制を整える。】 8:30【企業連絡協議会会員の被害状況を、電話により確認】 8:30【観光施設（市有施設）の被害確認】 8:30【中小企業の被害状況を電話により確認】
9:00		9:00【（福）ひばり野学園、都賀の里都賀ファミリーパークへ避難】 9:00【柏倉町認定外道路橋梁落橋により通行止め】 9:00【平井町太平山遊覧道路土砂崩れにより通行め】 9:30【大平町下高島地内巴波川寿橋下流右岸洗掘を確認】	9:00【第3回災害対策本部会議】 ※市内短期入所事業所に対し、ひばり野学園利用者の受入について確認を行う。 9:00～16:00【農業施設等被害状況現地確認】 9:50【避難指示発令（下高島自治会）】
10:00	10:50 発表【永野川 氾濫警戒情報】	10:00【大平町蔵井地内永野川山下橋上流堤防洗掘】 10:05【藤岡町甲地内江戸尻橋から中郷橋道路冠水のため通行止め】 10:00～15:00【土のう作成依頼（建設業組合、延べ12人）】 10:45【甲増庄ポンプ場停止】	10:00【栃木中央小学校 救護所設置・避難者救護・感染症予防・健康相談】 10:30【三鴨地区公民館・赤麻地区公民館給水所開設（佐野市、芳賀中部上水道企業団）】

11:00			
12:00		12:00【新井町鹿島森橋落橋により通行止め】 12:00【野中町田原橋橋梁屈曲により通行止め】 12:00【野中町永宮橋橋梁の桁ずれ等により通行止め】	12:00【西前原排水機場 国交省排水ポンプ車到着】
13:00		13:00【太平山あじさい坂中腹のトイレ付近で土砂崩れ 通行止め】 13:30【尻内町市道D165号線土砂崩れにより通行止め】	13:00【藤岡第2中学校給水所開設(宇都宮市)】
14:00	14:55 発表【土砂災害警戒情報第11号】	14:00【岩出町市道D273号線永野川右岸堤防洗により 通行止め】	14:00【栃木市ボランティア支援委員会開催】 14:00【片柳市営住宅ポンプを設置し、排水開始】
15:00	15:00 発表【永野川 氾濫注意情報】 (警戒情報解除)		15:00【西前原排水機場 国交省排水ポンプ車による排 水開始】
16:00			16:00【第4回災害対策本部会議】
17:00			
18:00			18:00【赤麻地区公民館・藤岡第2中学校給水作業終了】
19:00			
20:00			20:00【菌部浄水場送水ポンプ2台修理完了し、菌部浄 水場区域の断水を免れる】 20:00【三鴨地区公民館給水作業終了】 20:00【水道広報活動終了】
21:00			21:00【三鴨・部屋地区の一部断水解消】
22:00			部屋地内旧巴波川水位調査
23:00	23:55 発表【土砂災害警戒情報 第12号】		

【9月11日(金)】

時刻	宇都宮地方気象台情報	災害状況	栃木市活動状況
0:00			
1:00		1:55【蛭沼浄水場冠水のためポンプ停止】	
2:00			
3:00			
4:00			4:00【真上浄水場水源地復旧により給水開始(断水を免れる)】
5:00	5:15 発表【土砂災害警戒情報解除 第13号】		
6:00			6:30【避難指示解除】

7:00			7:00【3給水所給水作業開始】
8:00			8:00【水道広報車による広報活動開始】 8:30～【栃木地域浸水地域消毒及び廃棄物回収・災害 廃棄物受け入れ開始】
9:00			9:00～16:00【農業施設等被害状況現地確認】 9:00～16:00【栃木市災害ボランティアセンター開設(栃 木市民会館)】 9:40【ひばり野学園利用者の、大柿コミュニティセンター への移動を決定】
10:00			
11:00			11:00【第5回災害対策本部会議】
12:00			
13:00			13:20【西前原排水機場 市建設業協同組合による排水 ポンプ稼働】
14:00			14:00【避難指示発令(部屋・新波・石川・帯刀)】
15:00			
16:00			16:00【第6回災害対策本部会議】
17:00			
18:00			18:00【赤麻地区公民館・藤岡第2中学校給水作業終了】 18:30【避難指示解除】
19:00			
20:00			20:00【三鴨地区公民館給水作業終了】 20:00【水道広報活動終了】
21:00			
22:00			
23:00			

1.4.4 災害時初動対応の課題及び対応策

1 市の初動体制の強化

- (1) 災害状況に応じた職員動員、活動内容、指揮命令系統を明確にして迅速かつ柔軟に対応する。
- (2) 栃木市消防団との連携を強化する。
- (3) 通信訓練、非常招集訓練、図上訓練などにより迅速に対応する。

2 正確な情報収集と情報の共有化

- (1) 防災体制の移行に伴う気象情報などを的確に把握する。
- (2) 収集・発受信職員を増やし、対策本部の設備を充実する。
- (3) 市民、各種団体の協力を要請する。

3 災害の状況に応じた情報等の迅速な発信

- (1) 防災行政無線、コミュニティFM、防災ラジオなどを活用する。
- (2) 自主防災組織や自治会との連絡体制を強化する。

4 迅速な避難所開設と住民への避難情報の周知

- (1) 適切な避難勧告・避難指示の発令と情報発信をする。
- (2) 安全に避難できる避難所の開設をする。

5 避難所環境の改善

- (1) 居住設備、飲食物等の充実、改善をする。
- (2) プライバシーの確保や高齢者、女性避難者などへ配慮する。

6 被害を受けた人への支援

- (1) 総合窓口の創設による申請等手続きの一元化を図る。
- (2) 各種支援制度を見直す。

7 地域防災力の向上

- (1) 学校、事業所、自治会での研修会による防災意識の高揚を図る。
- (2) 自主防災組織を設立、育成し、防災意識の高揚を図る。
- (3) 市民が参加できる実践的防災訓練を実施する。
- (4) 防災ハザードマップを活用した防災意識の高揚を図る。

栃木市2万人避難勧告

台風18号 日光市では5人孤立

台風18号の影響で県内は9日、大雨に見舞われた。宇都宮市で5世帯12人に避難指示が出たほか、栃木市で2万人以上に避難勧告が出された。土砂崩れが相次ぎ、道路が通行止めとなるなど、県内各地で影響が出た。10日も昼頃まで大雨が続き見込みで、宇都宮地方



公民館に避難してきた住民ら(栃木市皆川城内町で)

気象台が土砂災害に注意を呼びかけている。気象台によると、7日午後6時からの雨量は、9日午後9時現在、奥日光で381・5ミリ、今市で284・5ミリなど。17市町で土砂災害警戒情報が出た。宇都宮市では、姿川が氾濫の可能性が高いとして、川沿いの住民に避難指示を

発令。栃木市でも、土砂災害の危険性が高まったとして市内の山沿いを中心に1万世帯以上、約2万8000人に避難勧告を出し、市の広報車などで避難を呼びかけた。上三川町などで計2棟が床下浸水した。日光市川俣では9日午後2時25分頃、大雨に備えて資機材を回収していた同市の建設会社社員ら5人が沢の水位が上がって孤立したと119番があった。今市署によると、5人は高所に避難して無事という。消防は9日の救助を断念、10日にヘリコプターで救助する予定。日光市のいろは坂では、大雨により数十か所で土砂崩れが発生。日光署は

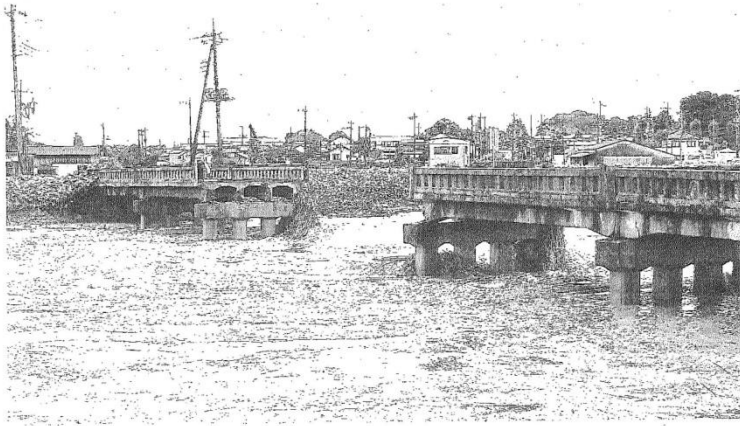
午後4時半頃、上下線を全面通行止めにした。県教育委員会によると、9日、宇都宮市が市立中学校全93校の授業を5時間目までで打ち切った。足利高校とさくら清修高校も午後授業を打ち切った。JR宇都宮線は宇都宮市茂原町で架線に物が引っかかり、東京―宇都宮間が上下線で運転を見合わせた。このほか、JR両毛線や東武の県内各線も運転を見合わせた。また、大田原市や鹿沼市、那須塩原市などで計約1500世帯が一時停電した。

の建設会社社員ら5人が沢の水位が上がって孤立したと119番があった。今市署によると、5人は高所に避難して無事という。消防は9日の救助を断念、10日にヘリコプターで救助する予定。日光市のいろは坂では、大雨により数十か所で土砂崩れが発生。日光署は

午後4時半頃、上下線を全面通行止めにした。県教育委員会によると、9日、宇都宮市が市立中学校全93校の授業を5時間目までで打ち切った。足利高校とさくら清修高校も午後授業を打ち切った。JR宇都宮線は宇都宮市茂原町で架線に物が引っかかり、東京―宇都宮間が上下線で運転を見合わせた。このほか、JR両毛線や東武の県内各線も運転を見合わせた。また、大田原市や鹿沼市、那須塩原市などで計約1500世帯が一時停電した。

中央部が濁り下流に
目撃者、橋大川に
崖まで、小山真樹撮影

大雨 猛威あらわに

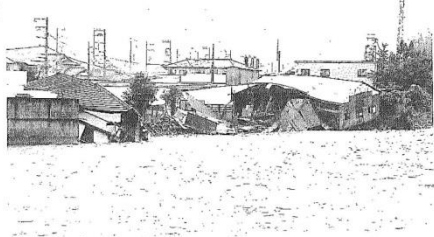


水没する家、壊された
橋、体感温度は厚くサ
ンド。配管は大雨で
思われないほど、暴
内の景色は「変」た。自然
の威力を改めて感じら
れる。配管が「K」
取め。

橋崩壊



水没した現場に残っている人々
にボートで救助物資を届ける津
防隊員（10日午後2時55分、小
山市神町で）＝中村賢也撮影



消される民家
黒川の氾濫で消された民家（10日午前10
時）＝中村賢也撮影



避難所
多くの人が体育館に集まった
（10日午後0時55分、小山市立黒
田中学校で）＝中村賢也撮影



巴波川増水
増水した巴波川に流され
れる冷蔵庫（10日午前
10時1分、徳本市町で）
＝小山真樹撮影

県、7市町災害救助法適用



県内大雨被害

不明女性ら2人死亡

9/12 下野

1134人避難継続、孤立も

台風18号による大雨の影響で土砂災害や浸水被害が広範囲にわたった県内は11日、台風一過で天気が回復、本県で初となった大雨特別警報は解除された。一方で県は、継続的な援助が必要だとして栃木、佐野、鹿沼、日光、小山、下野、野木7市町の災害救助法の適用を決定。大雨の爪痕は深く、住宅が土砂崩れに巻き込まれた鹿沼市の現場から女性が心肺停止で発見され、死亡が確認された。日光市で排水管が吸い込まれ意識不明の重体となっていた男性も死亡した。一部で地域の孤立や避難も続いているほか、栃木市藤岡町では河川の増水に伴い新たに避難指示が出された。

鹿沼市によると、土砂災害で死亡したのは鹿沼市日光吉町、無職小林フミ子さん(63)。10日未明、住宅3棟が土砂崩れに巻き込まれた同所で、同日深夜、自宅に流れ込んだ土砂の中から、心肺停止の状態で見つかった。

今市署によると、日光市で意識不明になっていた同市石橋、団体職員佐藤悦史さん(25)が死亡した。10日、同市板橋で排水管のつまりを除去する作業中、雨水とともに排水管に吸い込まれ、意識不明の重体となっていた。

県危機管理課の11日午後1時現在のまとめによると、栃木、鹿沼、日光の3市に出ている土砂災害警戒情報は解除された。

大雨で道路が冠水し、ものを船で運び出すも11日午後3時50分、栃木市藤岡

特別警報 2
書の危険性が迫っていると判断した場合、気象庁が発表する運用開始。数十年に1度しかないような自然現象が予想され、東日本大震災の大津波や、死者・行方不明5千人以上の伊勢湾台風、死者70人以上の紀伊半島豪雨など、重大な災害を超越する大規模被害をも特別警報に当たる。

最大15市町で4万6883世帯、9万3380人に出された避難指示・勧告もほぼ解かれたが、小山市で797人、栃木市で186人など7市町で計1134人が避難を継続。栃木市は河川増水に伴い藤岡町の425世帯に避難指示を出した。

道の寸断による孤立地域は鹿沼市の2カ所で解消したが、塩谷町で1カ所(4世帯9人)、日光市で3カ所(33世帯62人)が残っている。このうち陸上自衛隊などが日光市片沢の集落に救援物資を届けた。また浄水場などのトラブルで、栃木、小山、那須塩原の3市で計1万640戸が断水している。

塩谷町などで新たに屋根崩れが判明した。床下浸水は野木町で207棟、日光市で59棟に上る。同市で約700軒が停電している。

通常生活まだ遠く

栃木・部屋小、小山・羽川西小 校舎など浸水

被害深刻 再開見通せず

他校の空き教室で授業へ



県内広域水害で校舎や体育館が浸水し、休校が続く栃木市部屋小と小山市羽川西小。西市教委は14日までに、近隣の小中学校の空き教室を借りて授業を再開する見通しを決めた。ただ、2校とも母校での授業再開の見通しは立っていない。

(宇留野有貴、内藤大地)

部屋小では同日、教職員ら約25人が教室や廊下の清掃を行い、授業再開に向けて使用可能な教材を選別するなどの後片付けに追われた。

全児童124人が通う同校は、1階に1、2年生の教室などがある旧校舎が床上約50センチ、職員室などがある本校舎が床上20センチまで浸水した。児童が教室に置いていた絵の具箱や体操着、鍵盤ハーモニカなどが泥をかぶって使用できなくなったほか、長期間にわたって水が滞留したため体育館や廊下の床がめくり上が

泥を被った教材などの後片付けを行う教職員ら14日午前、栃木市部屋小、内藤大地撮影

った。校舎を再び使用できるめどは立っておらず、15日から栃木市藤岡第一中の校舎を借りて授業を再開する。

黒沢博幸校長(57)は「思いが詰まっている慣れ親しんだ校舎が使えなくなると、子どもたちの気持ちに心配」と話していた。

一方、小山市羽川西小は約2キロ東の羽川小で16日から授業を再開する。

同市北部、思川と釜川の

間に位置する羽川西小は校舎1階が床上約50センチまで浸水。職員室や給食調理室のほか、体育館の床全面が水に漬かった。電気、ガス系統や浄化槽など幅広く被害が及んでおり、羽川小の会議室や特別教室を使い、授業再開を決めた。

同市教委は、羽川西小の児童174人のうち、羽川小から直線距離で4キロ以上

8市町の被災者対象に特別措置

栃木労働局、相談窓口も
栃木労働局は14日、県内

広域水害で6市2町に災害救助法が適用されたのに伴い、同市町の被災者らに対

象にした特別措置を実施すると発表した。また各ハローワークなどの窓口で、被災者や被災事業者らの相談に応じる。

特別措置により、ハローワークに求所できなかった人の失業認定日の変更を行

県内市町

9/15
F

処理「追い付かない」

災害ごみ受け入れ態勢も

県内広域水害で住宅の浸水などの被害を受けた各市町は14日も、災害ごみの処理に追われた。住宅の床上浸水が400棟近くに上った栃木市は、巴波川の氾濫で被害の大きかった市街地に仮置き場を新設。それでも続々とごみを持ち込まれるため「作業は追い付かない」と担当者。住民からも「休みなしでやっているが、片付けは半分も進まない」といった声も漏れ、先は見

通せない状況だ。水害で出たごみについて県内各市町の中には、ごみ処理施設のほか、搬入先となる仮置き場を新たに設ける動きもある。栃木市は12日午後から、入舟町の旧栃木中央小学校庭に仮置き場を設置した。大量のごみ袋に加え、水にぬれた家具、畳などが山積み

の状態で、13日現在、150トに上るといふ。ごみは住民が自ら借り置き場に持ち込むほか、軒先に出された物を市や業者のトラックが回収している。それでも浸水があった市街地の家の前には、いくつものごみの山。市は他部署の職員も動員し、仮置き場で分別などに当たっているが「量が多く追い付かない。一日も早く片付けたいが、収束時期は見えない」(市環境課)とする。片付けを急ぐ住民には、疲勞の色もにじむ。自宅が



仮置き場に積み上げられた災害ごみ。市職員らが休みなく分別に当たる＝14日午後、栃木市入舟町、田面木千香撮影

床上まで水に漬かった同市錦町、松浦ヨシ子さんの賢一さん(80)も「片付けは親戚や子どもたちが来て手伝ってくれているが、半分も進まないよ」と嘆いた。

一方、鹿沼市は自治会ごと

一方、鹿沼市は自治会ごと

ゴミも不安も山積

広域水害・栃木市部屋地区

機具全滅「農業やめる」 泥水で異臭体調に影響も

9/16
下野

【栃木】県内広域水害で冠水が長引き、約60棟が浸水した藤岡市南部の部屋地区。13日ごろからようやく水が引き始め、15日は浸水被害を受けた住民らが住宅などの片付け作業に追われた。庭や道路には、畳や障子、ソファなど泥に漬かった家財道具が山のようになり積み上げられた。

(文・写真 石崎倫子)



収穫したばかりのコメが浸水した稲葉さんの作業小屋

「農業経営はやめようかと思っている」

西前原、農業稲葉幸一さん(59)が肩を落とした。床上70センチまで浸水した母屋の清掃は親類の手を借りて一段落した。しかし、母

屋より低地にある作業小屋は2メートル以上浸水し、収穫したばかりのコメ160袋が水に漬かった。小屋周辺から水が完全に引いたのは15日朝。コンバ

インやトラクター、田植機、乾燥機などの農機具が全滅した。「新しく買うと約1500万円はかかる。農業はあきらめている」と嘆いた。

部屋、主婦石山紀子さん(48)の家は床上10センチまで浸水し、14日から清掃を始

めた。夫が仕事のため、娘の未菜さん(27)と2人で作業に当たるが、「半分も片付いていない」。泥水が流れ込んだため、異臭が漂い「どぶのような、油のような臭いがすごい。体調がおかしくなっている」と顔をしかめた。

冷蔵庫やエアコン、洗濯機など水に漬かった家電は買い替えたばかり。「行政に求めるのは財政支援。消毒も早く対応してほしい」と話した。

部屋小が授業再開

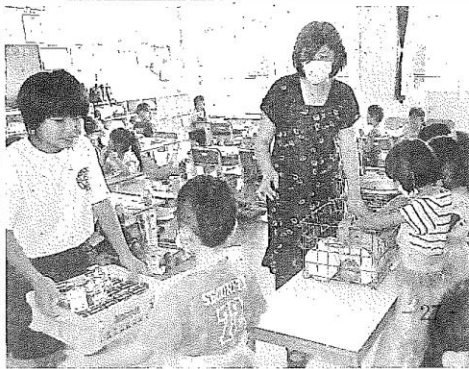
藤岡二中校舎を間借り

【栃木】県内広域水害で浸水し、校舎や体育館が使用できなくなった部屋小は15日、藤岡第二中の校舎を間借りする形で授業を再開し、116人の児童が徒歩やスクールバスで元気づく登校した。

児童らは同中学校の3階にある生徒会室や音楽室などを教室として使用する。同中では12日から市教委や藤岡地区の小中学校などの

協力を得て、低学年用の机を用意したり、教室にあつた荷物を移動したりして受け入れ態勢を整えた。この日は両校の顔合わせの後、授業が実施された。同小6年田熊省吾君(11)は「小学校と環境が違って勉強しづらいけど、教室を貸してもらっているの頑張りたい」と意気込んだ。同中3年、生徒会長の柴田大輝君(14)は「大変な

ときだから支え合って乗り越えていけた。一緒に地域を明掛けた。



藤岡二中の生徒から給食を届けてもらう部屋小児童ら

「また冠水したら…」

雨予報に募る不安

排水ポンプ壊れたまま

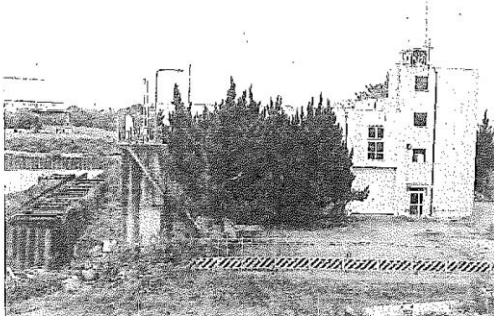
栃木・藤岡地区

大雨の影響で排水ポンプが故障し、広い範囲で冠水した栃木市藤岡町。ポンプは16日も故障したままで、復旧の見通しは立っていない。「大雨が降ったら、また冠水するのは」。県内は17日から18日にかけてまとまった雨が降る見込みで、ポンプ周辺の西前原地区の住民らは不安を募らせている。

記録的豪雨

大雨で10日午前4時にポンプ室が浸水し、3基全てが故障した。現在、業者が水に漬かった機器を調査している。「早くポンプを復旧してほしい」。こう語気を強めるのは農業稲葉幸一さん。

同市藤岡総合支所によると、排水機場は9日からの



ポンプが故障したままの西前原排水機場＝16日夕、栃木市藤岡町西前原

大雨で10日午前4時にポンプ室が浸水し、3基全てが故障した。現在、業者が水に漬かった機器を調査している。「早くポンプを復旧してほしい」。こう語気を強めるのは農業稲葉幸一さん。同支所は「なるべく早くポンプを動かせるようにしたいが、調査自体に時間がかかる」と説明。台風や集中豪雨の際は国土交通省に排水ポンプ車を要請し、対応する考えだ。

と、県内は17日昼前から雨になり、同日夕から夜遅くにかけて1時間に25mmの強い雨が降るところがある見込み。広域水害の影響で地

通行止め解除 県が見込み発表

国道121号は25日めど

県土整備部は16日、県内広域水害の影響で路面が崩落するなどして通行止めとなっていた道路15カ所の解除見込みを発表した。国道121号のうち、大規模落石で通行止めとなっていた日光市五十里(1・3号)は、25日をめぐりに対面通行を確保する。大規模崩落があった同市藤岡町の原(2・5号)は、同日午

区間	解除見込み
121号	日光市五十里 9/25(対)
	日光市藤岡町の原 9/25(片)
	日光市藤岡町龍王峽 9/25(片)
上久我栃木線	鹿沼市上久我～同市上南摩 9/19(対)
	鹿沼市西沢 9/17(対)
下日向粟野線	鹿沼市栗沢橋 9/18(対)
	鹿沼市野尻 9/19(片)
栗山嶺岩線	日光市土呂部～福島県境 9/30(片)
小栗川文扶石那田線	日光市赤行橋 未定
黒部西川線	日光市西川打越トンネル 9/25(5回)
柏倉高生線	栃木市柏倉町～佐野市葛生東1丁目 9/30(対)
宇都宮市線	鹿沼市榎木橋 9/18(対)
	日光市岩崎 10/25(対)
	日光市下小代 9/25(片)
日塩もみじライン	全線 9/17(対)

*解除見込みの(対)は対面通行、(片)は片側交互通行

用の警告音とともに誰でも受信できる緊急速報メールでの配信はなかった。緊急速報メールの配信内容は災害情報、避難準備情報、避難指示など。市が同メールによる情報を初めて

行止め(50号)は、25日までに湯西川ダムの工事用道路を活用し、対面通行での迂回路を確保する。解除見込みは気象状況などにより遅れる可能性もある。道路通行止めの解除見込みは17日から、県のホームページで閲覧できる。(中野 勲)

緊急速報メール 日光市配信できず

記録的豪雨で、日光市が浸水の危険性があつた高原、小網地区に発令した避難準備情報」をめぐり、2011年に導入したNETTドコモの緊急速報メールサ

配信したのは13日午前9時、若狭地区の「避難指示」だった。高原、小網地区の避難準備情報は11日午前6時15分に解除された。

サービスが使われていなかったことが16日、同市危機管理放射能対策室などへの取材で分かった。市は川治ダム放流に伴う河川の増水によって浸水の危険性が高まったことから10日午前4時45分、避難準備情報を発令。ホームページや事前にメールアドレスを登録した人のみを対象とする防災メールでは情報を伝えたが、市内にいれば専

ゆうちよ銀でも 義援金受け付け

県共同募金会と県 共同募金会と県は16日、台風18号等災害義援金の受付先にゆうちよ銀行を追加した。11月30日まで。振込先は次の通り。

県共同募金会 ゆうちよ銀行V口座記号番号0019053324034 栃木県共同募金会 台風18号等災害義援金 県 ゆうちよ銀行V口座記号番号00120151450755 栃木県災害対策本部事務局

床上浸水に10万円

住宅支援、一時保育も

栃木市特例で

【栃木】鈴木俊美市長は18日、臨時記者会見を開き、県内広域水害で住宅が床上浸水した市民に10万円の見舞金を贈ることなどの支援策を明らかにした。25日の定例市議会最終日に条例案と約6860万円の一一般会計補正予算案を提出する。被災者への住宅支援、自家や実家の片付けの際の一時預かり保育の実施も合わせ

て発表した。市内では床上浸水約400棟、床下浸水約1300棟の被害が発生。従来の市災害見舞金条例では、床上浸水のみ1万円支給されるが、被害の深刻さを考慮。今回の水害限定で適用する「市災害見舞金支給の特例に関する条例」を定めることにした。床上浸水に10万円、床下



臨時記者会見で支援策を発表する鈴木市長

浸水は消毒剤の散布など衛生措置を行った場合に1万円を贈る。住宅、事業所とも対象となる。アパートなどに居住する場合はそれぞれ半額を支給する。

市は21日から職員が被害調査を実施。10月5日から被害が確認された物件の所有者などに見舞金を手渡し、同月中旬までの完了を目指す。

鈴木市長は「生活支援策としてまずは見舞金を支給させていたたく。農業被害などへの対応は近日中に決める」とした。住宅支援については、宅建協会県南支部の協力で民間アパートを紹介するほか、被災者を対象とした市営住宅の特別募集を実施する。

一時預かり保育は19、23、26、27の計7日間実施。栃木、藤岡両地域の市地域子育て支援センターでおおむね1歳から就学前までの子どもを預かる。(吉田隆則)

鈴木市長は「生活支援策としてまずは見舞金を支給させていたたく。農業被害などへの対応は近日中に決める」とした。

住宅支援については、宅建協会県南支部の協力で民間アパートを紹介するほか、被災者を対象とした市営住宅の特別募集を実施する。

具体的には①被災市民や産業活動の復旧支援②各種支援策の関係機関への働き掛け③防災対策の強化などを挙げている。

復旧支援へ決議 全会一致で採択

【栃木】県内広域水害を受け定例市議会は18日、本会議を開き、議員から提出された「台風18号等による大雨被害に関する決議」を全会一致で採択した。

市内では永野川、赤津川、巴波川が氾濫したことなどにより、広範囲に浸水被害が出たほか、市民1人が犠牲になった。家財道具や農作物への影響もあり、市議会は「一日も早い復旧を願うとともに、市との密接な連携協力の下、全力を挙げて難局を乗り切る」と決議した。